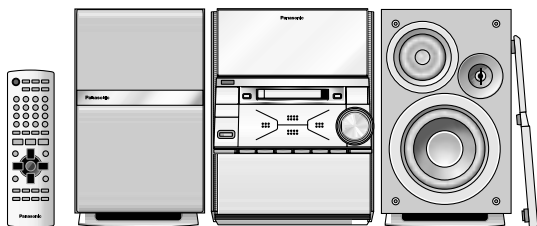
Panasonic®

取扱説明書

DVD/MD ステレオシステム

品番 **SC-PM900DVD**

このたびは、DVD/MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4 〜 6 ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

MDLP

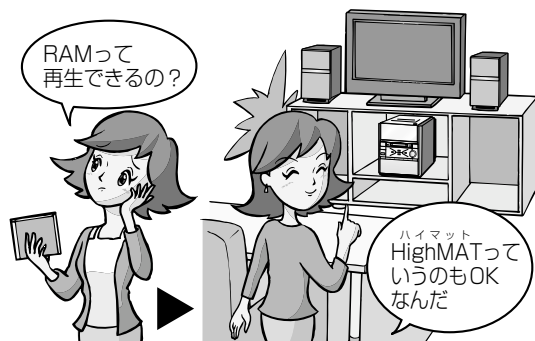
保証書別添付

上手に使って上手に節電 RQT7441-3S

もくじ

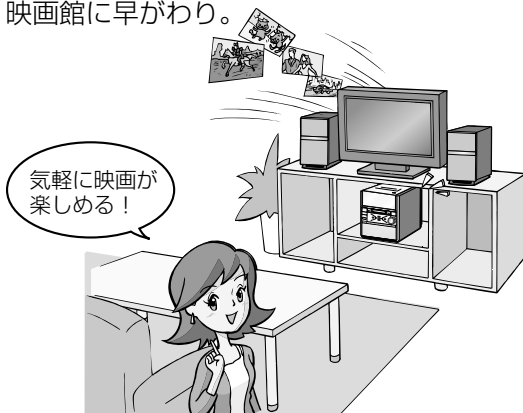
さまざまなディスクに対応

☞ 12ページ

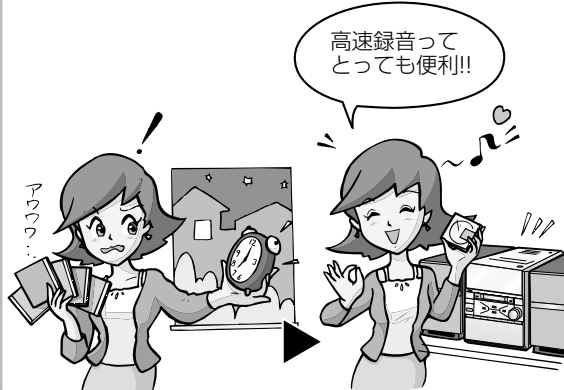
DVD-RAM やDVD-Audioも楽しめます。

プライベートシアターへ

☞ 9、64ページ

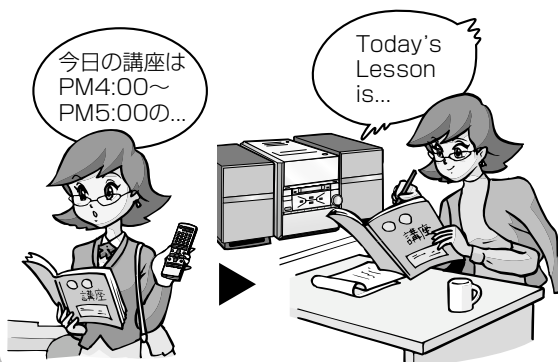
テレビ と接続すれば、お部屋が自分だけの映画館に早がわり。

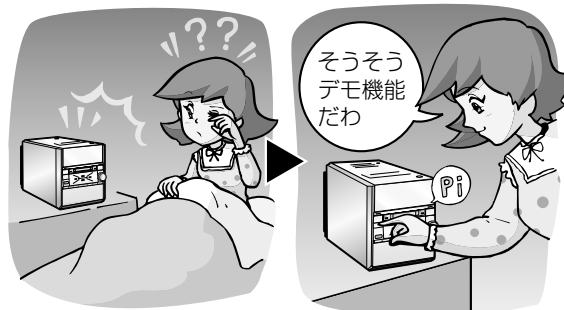
気軽に映画が楽しめる！

すばやくMDに録音

☞ 36～38ページ

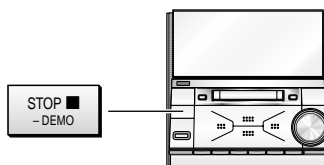
高速録音 を使えば、短時間で録音できます。

ラジオ講座も忘れず録音

☞ 52ページ

予約した時間に録音できる
留守録タイマー が便利です。

電源「切」時の表示部の点灯について

電源を切っても、表示部は自動的に点灯して変化します。**(デモ機能)**

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。このため、電源を切っても表示部は全消灯せず、デモ機能が働きます。

デモ機能を「切」にするには

STOP ■ – DEMO

デモ機能動作中に
"DEMO OFF" と表示するまで押したままにする

DEMO OFF

長く押すたびに
DEMO OFF（切）⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。(☞ 48ページ)

確認と準備

再　生

録　音

5CDイッキ録り
5枚のCDを1枚のMDに
スピーディに録音

もっと使いこなす

もし必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

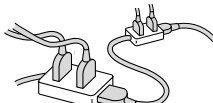
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

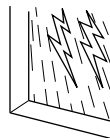
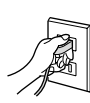
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

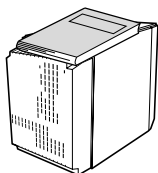
⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

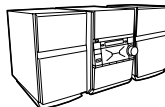
放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

付属品/設置/

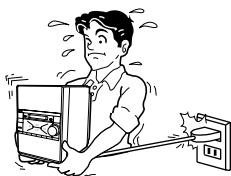
⚠ 注意

ご使用について

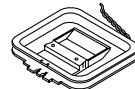
機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

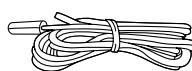
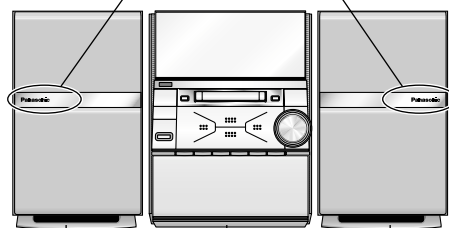
コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

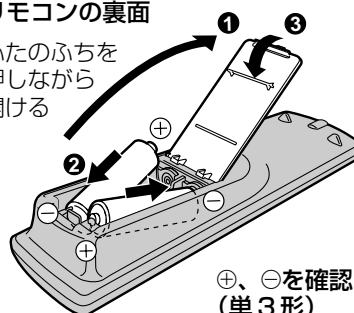
電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

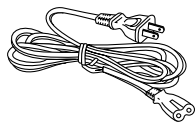
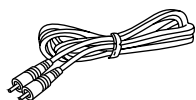
付属品を確認してください

カッコ【　　】内は、買い替え時の品番です。

FM簡易型アンテナ
（1本）
【RSA0007-L】

AMループアンテナ
（1本）
【N1DAAAA00001】

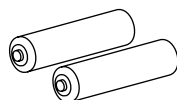
本機はこのように置きます

DVD/MDステレオシステム（SC-PM900DVD）

センターユニットとスピーカーは、1cm以上離す。

リモコンはこのように使います

■**乾電池（付属）の入れかた**

リモコンの準備

ビデオコード
（1 本）
【RJL1P016B15A】

電源コード
（1 本）
【RJA0012-K】

リモコン
【N2QAJB000097】

リモコン用乾電池
（単３形：２本）

お知らせ

●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

■スピーカーについて

スピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁設計です。（☞ 73ページ）

付属のスピーカー以外はご使用になれません

●他のスピーカーを使用すると、正しい特性の音が得られず、また故障の原因にもなります。

■よりよい音響効果を得るために

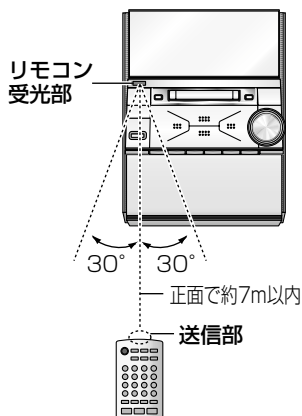
●平らで安定した場所に設置する。
●堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
●左右のスピーカーの間隔を広げる。
●壁から 5cm 以上離して設置する。

お願い

●大きな音量で連続使用しないでください。
スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
●通常の使用時でも、以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります）
一音がひずんだとき
一音質を調整するとき

お知らせ

スピーカーの左右は、ネットを外した状態でも確認できます。表紙のイラストをご覧ください。

■リモコンの使いかた

■使用上のお願い

●受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
●受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受光部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

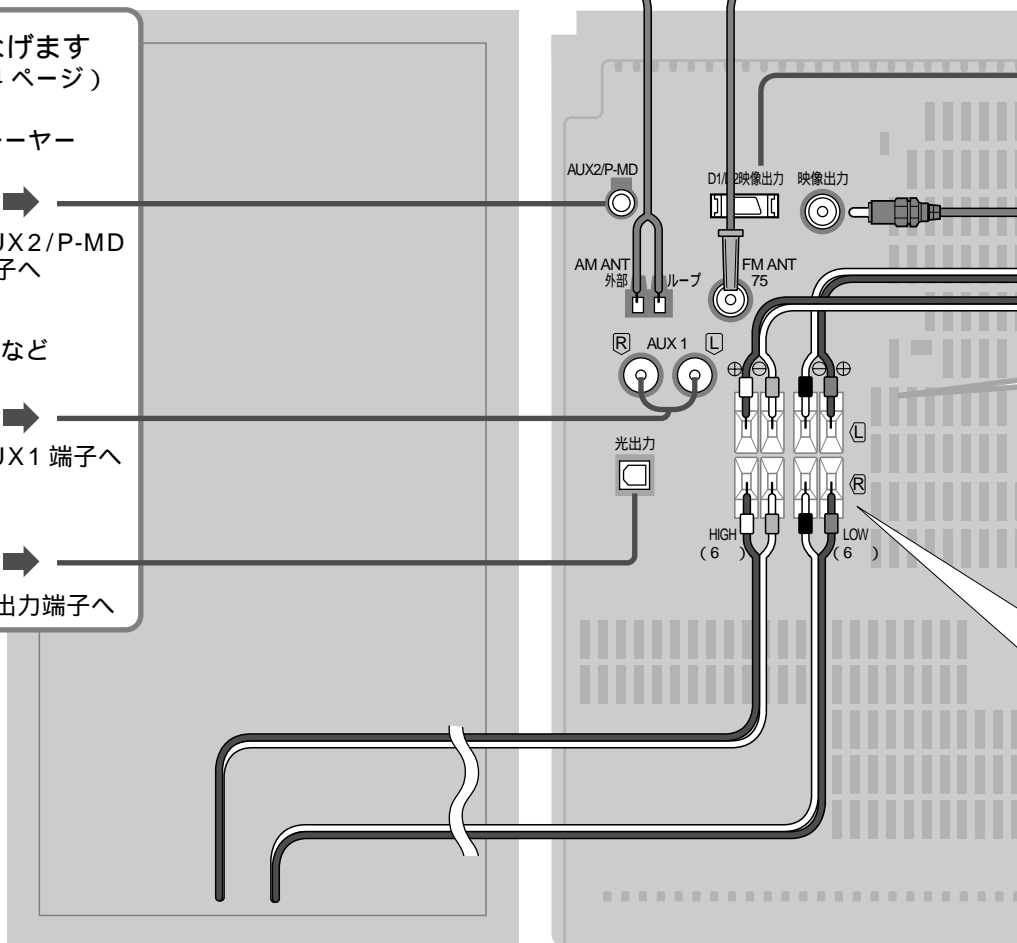
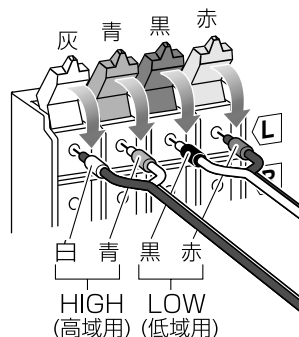
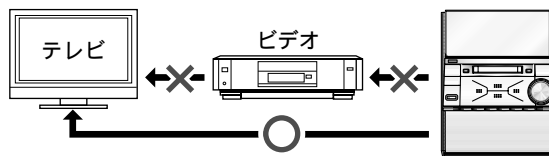
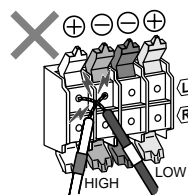
本機を移動するときは

① DVD、CD、MD、テープをすべて取り出す。
② [POWER ⏻/I] を押して電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※ この操作をしないと、故障の原因になることがあります。

確認と準備

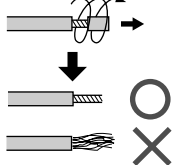
付属品／設置／リモコンの準備
安全上のご注意（つづき）

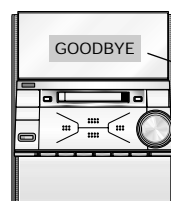
接続のしかた

1 AM ループアンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 32 ページ）、
雑音の少ない位置に置きます。
溝に差し込む
カチッ!
AM ANT
外部ループ
2 FM アンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 32 ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。
こんな機器もつなげます
（☞ 64 ページ）
ポータブル MD プレーヤー
AUX2/P-MD
端子へ
アナログプレーヤーなど
AUX1 端子へ
AV アンプ
光出力端子へ
AUX2/P-MD
D1/D2映像出力
映像出力
AM ANT
外部
ループ
FM ANT
75Ω
R
AUX 1
L
光出力
L
R
HIGH
（6Ω）
LOW
（6Ω）

3 ビデオコード

直接テレビに接続してください。ビデオなどを経由してテレビに接続したり、ビデオ内蔵型テレビのビデオ入力端子に接続すると、再生時に画面が乱れることがあります。

4 スピーカーコード

端子のレバーと同じ色のチューブが付いたコードをつなぎます。（白色のチューブが付いたコードは灰色の端子につなぎます）

お願い

- **誤った接続をすると、故障の原因になります。**
- スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。

5 電源コード

電源コードは最後に接続します。
電源コードを抜くときは…

① 押す。
②“ GOODBYE ” 表示が消えてから抜く。

各部のなまえ

● ［☞ 31］などの数字は参照ページです。

本　体

表示部（下記）

テープホルダー［☞ 31］

リモコン受光部［☞ 7］

PHONES（ヘッドホン）端子［☞ 14］

● CD ▶ MD HI-SPEED AUTO REC（5CD イッキ録り）ボタン［☞ 38］

OPEN ▲（テープホルダー開）ボタン［☞ 31］

SP/LP(長時間録音モード)ボタン［☞ 37］

MD 挿入口［☞ 27］

ADVANCED SURROUND ボタン［☞ 54］

STOP ■（停止）、ー DEMO ボタン［☞ 2、16、26、31］

EJECT ▲（MD 取り出し）ボタン［☞ 26］

POWER ⏻/I（電源）ボタン［☞ 16］

VOL（音量調節）つまみ［☞ 16、26、30、32］

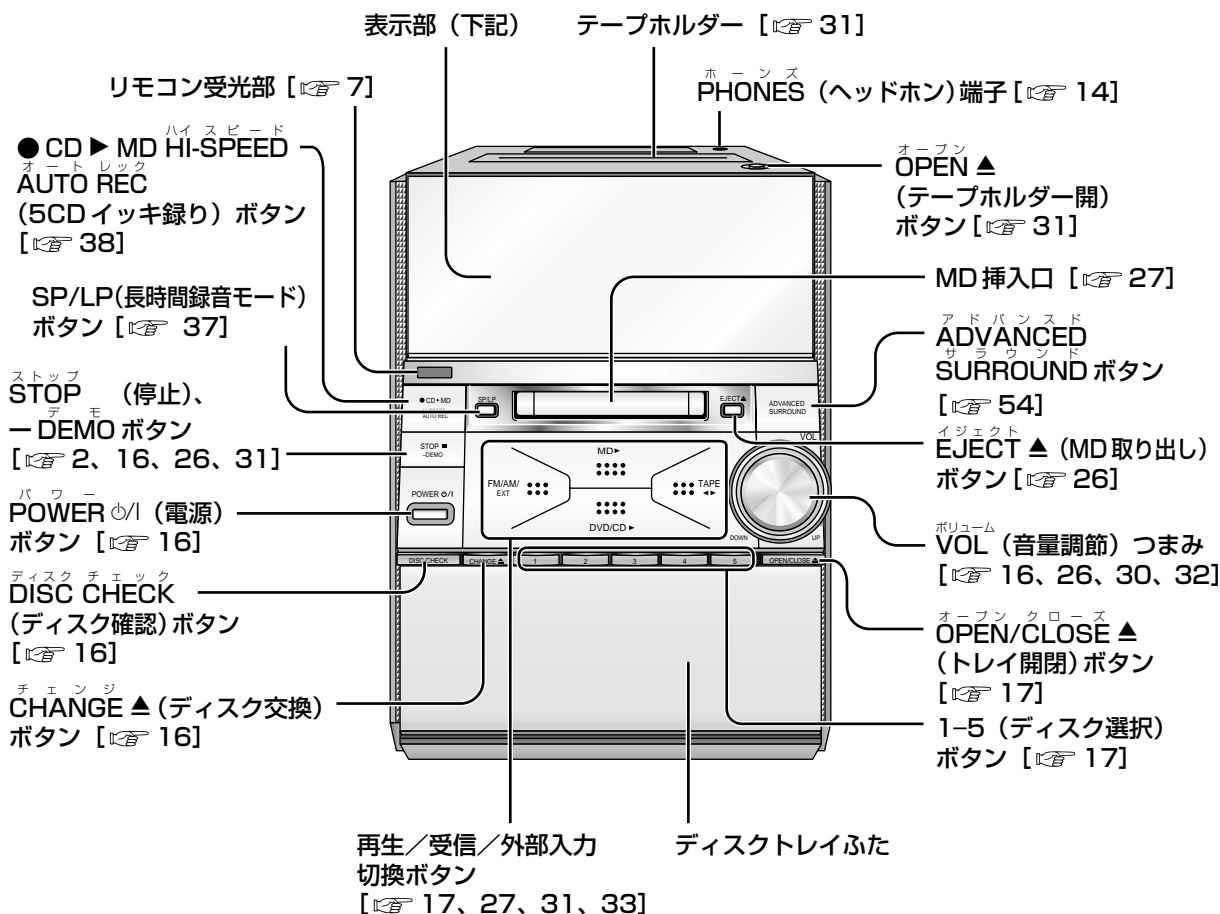
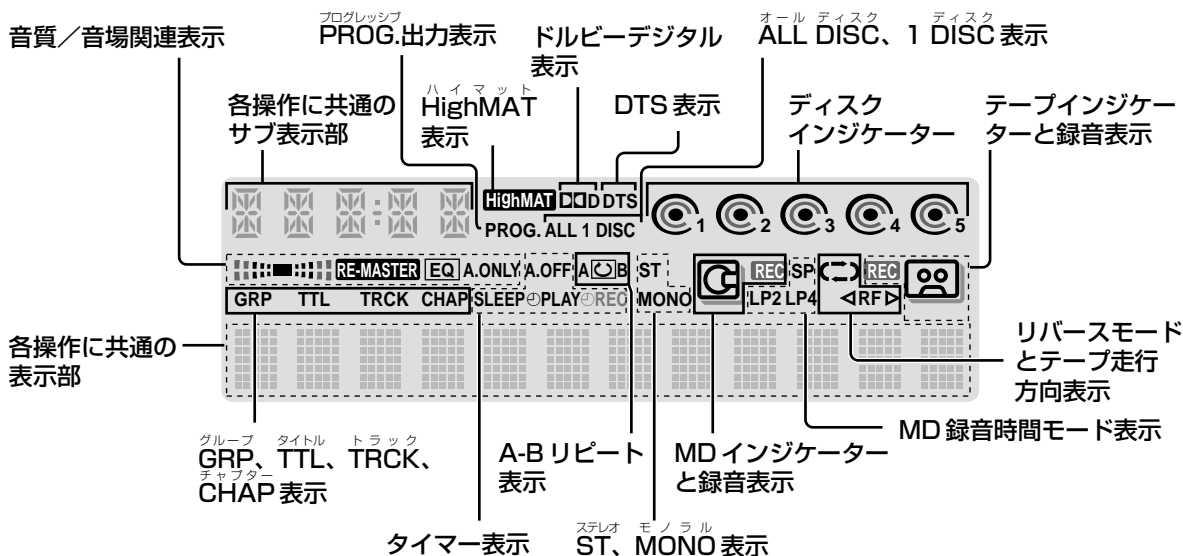
DISC CHECK（ディスク確認）ボタン［☞ 16］

OPEN/CLOSE ▲（トレイ開閉）ボタン［☞ 17］

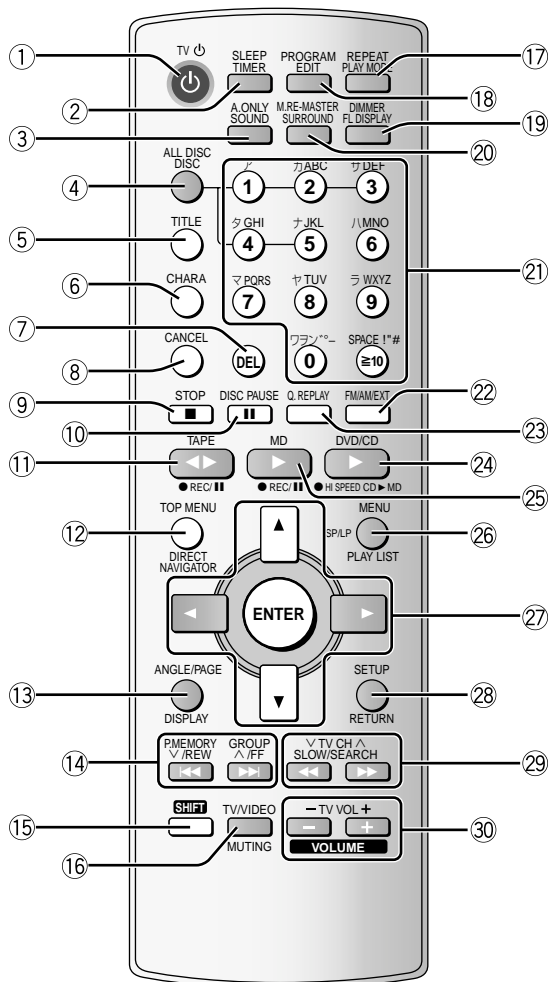
CHANGE ▲（ディスク交換）ボタン［☞ 16］

1–5（ディスク選択）ボタン［☞ 17］

再生／受信／外部入力切換ボタン［☞ 17、27、31、33］

ディスクトレイふた

表示部

表示が同じ場合、本体とリモコンの働きは共通です。

リモコン

下記イラストの灰色のボタン（SLEEP TIMER など）は、**[SHIFT] を押したまま**押すことで、複数の働きをします。

① ⏻（電源）、TV ⏻（テレビ電源）ボタン
[☞ 14、51、53]

② SLEEP、TIMER ボタン [☞ 49、50、52]

③ A.ONLY、SOUND（音質）ボタン
[☞ 54、55]

④ ALL DISC、DISC（再生方法選択、ディスク指定）ボタン [☞ 17、19]

⑤ TITLE（タイトル入力）ボタン [☞ 44]

⑥ CHARA（文字種）ボタン [☞ 47]

⑦ DEL（削除）ボタン [☞ 47]

⑧ CANCEL（解除）ボタン [☞ 20、21]

⑨ ■STOP（停止）ボタン [☞ 16、26、31]

⑩ ❚❚DISC PAUSE（DVD/CD、MD 一時停止）ボタン [☞ 19、26]

⑪ ◀ ▶ TAPE（再生）、● REC/ ❚❚（録音/録音待機）ボタン [☞ 39、41]

⑫ TOP MENU、DIRECT NAVIGATOR ボタン
[☞ 17、22]

⑬ ANGLE/PAGE、DISPLAY（GUI メニュー表示）ボタン [☞ 18、19、58]

⑭ |◀◀ P.MEMORY ∨/REW、▶▶| GROUP ∧/FF ボタン [☞ 18、19、20、26、31]

⑮ SHIFT ボタン

⑯ TV/VIDEO（入力切換）、MUTING ボタン
[☞ 14、55]

⑰ REPEAT、PLAY MODE ボタン
[☞ 21、25、27、28]

⑱ PROGRAM、EDIT ボタン
[☞ 21、28、29、39、42、63]

⑲ DIMMER、FL DISPLAY（本機表示）ボタン
[☞ 27、55]

⑳ M.RE-MASTER、SURROUND（音場）ボタン
[☞ 54]

㉑ 1 〜 0、≧ 10（数字）、文字ボタン
[☞ 17、19、26、47]

㉒ FM/AM/EXT（バンド/外部入力切換）ボタン
[☞ 34、62]

㉓ Q. REPLAY ボタン [☞ 18]

㉔ ▶ DVD/CD（再生）、● HI SPEED CD ▶ MD（CD 高速録音）ボタン [☞ 18、37]

㉕ ▶ MD（再生）、● REC/ ❚❚（録音/録音待機）ボタン [☞ 28、37]

㉖ MENU、PLAY LIST、SP/LP（長時間録音モード）ボタン [☞ 17、22、37]

㉗ ▲、▼、◀、▶（カーソル）、ENTER（決定）ボタン [☞ 15、17]

㉘ SETUP（初期設定）、RETURN ボタン
[☞ 15、17]

㉙ ∨ TV CH ∧、◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶ ボタン
[☞ 14、19、26]

㉚ − VOLUME ＋（音量調節）、− TV VOL ＋（テレビ音量調節）ボタン
[☞ 14、16、26、30、32]

本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明します。
- 表示部の画面は説明のための例です。使用する DVD、CD、MD などによって異なります。

本機で再生できるディスク (DVD/CD)

再生できるディスク

名　称	ディスクのロゴ	本書でのマーク	ディスクの構成（イラストは一例）
		使える機能に、各マークがついています。	映像や音楽は、図のような構成で各ディスクに記録されています。 ディスクによって呼称が異なります。
DVD ビデオ		DVD-V	タイトル1（チャプター1、チャプター2、チャプター3）、タイトル2（チャプター1、チャプター2）
DVD-R		DVD-V	
DVD オーディオ		DVD-A	グループ1（トラック1、トラック2、トラック3）、グループ2（トラック1、トラック2）
DVD-RAM		RAM	番組 番組1、番組2、番組3、番組4、番組5 プレイリスト プレイリスト1（シーン1、シーン2、シーン3）、プレイリスト2（シーン1、シーン2）
ビデオ CD		VCD	トラック1、トラック2、トラック3、トラック4、トラック5
CD		CD	
CD-R/ CD-RW	――	WMA/MP3 JPEG	グループ1（コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3）、グループ2（コンテンツ1、コンテンツ2）

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク（DVD オーディオディスクを除く）
- DVD-RAM（2.6 GB、5.2 GB、TYPE 1）
- DVD-ROM
- DVD+R
- +RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CD-G
- SACD
- CDV
- Photo-CD
- Chaoji VCD（“超級”と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）

など

お知らせ

- DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD の中には、ディスク側の制約により、本書の記載通りに動作しないディスクがあります。くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- 表示部に再生経過時間が出ないディスクや、メニュー画面付きビデオ CD の場合、一部の機能が働かないことがあります。
- それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

●本書では、DVD、CD を総称して**ディスク**と表記します。
●ディスクへの記録状態によっては、本機で再生できない場合があります。
●映像方式が NTSC のディスクのみ再生できます。(DVD オーディオを除く)

説　明

発売地域ごとに割り当てられたリージョン番号が付与されています。
● 本機のリージョン番号は「**2**」です。
● 「**2**」(または「**2**」を含むもの)もしくは「**ALL**」とジャケットに記されているディスクが再生できます。

など

当社製 DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ※した当社製 DVD-R ディスクは、「**DVD ビデオ**」として再生できます。
※再生対応機器で再生できるように処理すること。

繊細な音色から立体的な音色までを、高音質で再生できます。PAL 方式で記録された静止画は、NTSC 方式に変換して再生されます。
「**DVD ビデオ**」が記録されているディスクもあります。(DVD ビデオとして再生するときは GUI メニューで“DVD-Video として再生”を選ぶ☞ 60 ページ)

右の表のディスクが再生できます。

本機では、番組やプレイリストのほかに、**静止画**(JPEG)も再生できます。(再生できる JPEG は☞ 66 ページ)

タイプ	● カートリッジなし ● カートリッジ付きでディスクを取り出せるもの(**TYPE2、TYPE4**)
容量	9.4GB(両面、12cm) 4.7GB(片面、12cm) 2.8GB(両面、8cm)
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1(ビデオ録画のための統一規格)で記録されたもの

お知らせ
●**カートリッジ付きディスクの再生時は、必ずディスクをカートリッジから取り出し、使用後はカートリッジに収納してください。**
(くわしくは、ディスクの説明書などをご覧ください)
● 取り出したディスクに傷や汚れをつけないでください。
● 番組と番組のつなぎ目などが滑らかに再生できない場合があります。

音楽や映像が記録されたディスクが再生できます。
スーパービデオ CD(SVCD : IEC62107 準拠)も再生可能です。

通常の音楽 CD や文字情報を記録した **CD テキスト**のほかに、**HDCD** も再生できます。[ただし、ピークエクステンド機能(大きい音声の振幅を拡大する機能)には対応していません]
HDCD は、記録されている情報量が通常の音楽 CD より多く(16 ビット→20 ビット)、高音質とされています。本機では、再生中、表示部に“HDCD”が表示されます。

● CD-DA、ビデオ CD、WMA、MP3、JPEG のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ※した音楽用 CD-R と CD-RW が再生できます。
※再生対応機器で再生できるように処理すること。
● **HighMAT™(ハイマット)で記録されたディスク**
WMA、MP3 または JPEG を HighMAT 規格に準拠して記録することで、プレイリスト再生が楽しめます。(☞ 23、66 ページ)

ディスクのジャケットのマークについて(イラストは一例です)

■ 画面サイズ(横:縦)

マーク	説明
4:3	● **標準(4:3)サイズ**
LB	● **レターボックス** 4:3 で上下に黒い帯が入った画面
16:9 LB	● **ワイド(16:9)サイズ** 標準(4:3)サイズのテレビではレターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生
16:9 PS	● **ワイド(16:9)サイズ** 標準(4:3)サイズのテレビではパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生

■ 記録されている音声の種類

DIGITAL dts SURROUND

本機は、ドルビーデジタル/DTS の 5.1 チャンネルデコーダーを内蔵しています。

本機では、これらのロゴがついたディスクを 2 チャンネルの音声で楽しめます。

■ その他

音声数

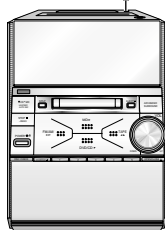
字幕数

アングル数

リモコンでテレビを操作する

当社製のテレビを、本機のリモコンで操作できます。（一部機種を除く）
各操作について、くわしくはお手持ちのテレビの説明書をご覧ください。

操作	ボタン	
テレビの電源を入/切する	SHIFT ＋ TV ⏻	同時に押す
テレビのテレビ/ビデオ入力を切り換える	SHIFT ＋ TV/VIDEO（MUTING）	同時に押す
テレビのチャンネルを選ぶ	SHIFT ＋ ∨ TV CH ∧ SLOW/SEARCH ◀◀ ▶▶ （数字ボタンでは選べません）	同時に押す
テレビの音量を調節する	SHIFT ＋ − TV VOL ＋ VOLUME	同時に押す

ヘッドホンを使う

プラグタイプ：
ステレオミニ（M3）
推奨品：
RP-HT530
RP-HT242
（ともに別売り）

お願い

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽及び映像作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

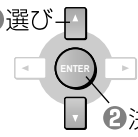
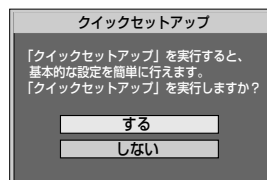
ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0＋Digital Out」はDTS社の商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

テレビに合わせて設定する

準 備 テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。（ビデオ２など）

1

押して
電源を入れる

2

押して
"DVD/CD" にする

3 SHIFT ＋ SETUP RETURN

同時に押す
お買い上げ後初めてのときは、テレビ画面に、基本的な設定が簡単に行える**クイックセットアップ**が表示されます。
（次回から**初期設定画面** ☞ 56 ページ）

4 ❶選び ❷決定

"する" を選択

画面のガイドに従って設定できます。
設定を終えたら、[ENTER] を押す。

クイックセットアップで設定できる項目
● 画面メニュー言語 ● 接続している TV
● TV のアスペクト※1 ● プログレッシブ出力※2
● PCM デジタル出力

5

押す
初期設定画面が消えます。

■ひとつ前の画面に戻る ➡

■クイックセットアップを "しない" にしたときは

初期設定画面（☞ 56 ページ）になります。
必要に応じて初期設定を変更してください。
設定を終えたら、[RETURN] を押す。

お知らせ

● DVD の映像の縦横比は、ディスクによって異なります。
● 必要に応じて、テレビ側の画面モードも設定してください。
● テレビを本機の映像出力端子に接続したときは、表示部の "PROG." 点灯にかかわらず、インターレース出力※2になります。

用語がよくわからないときは...
用語解説（☞ 69 ページ）を
ご覧ください。

※1 TV のアスペクト

● **お使いのテレビが標準（4:3）サイズのとき**
「4:3」を選択
● **お使いのテレビがワイドサイズのとき**
「16:9」を選択

お知らせ

「4:3」を選択した場合、16:9 の映像の表示方法は「パン&スキャン」に設定されます。**初期設定画面**（☞ 56 ページ）で「レターボックス」に変更することもできます。

※2 プログレッシブ出力／インターレース出力

従来の映像信号（NTSC）は、525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、525I 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブでは DVD ソフト本来の高精細映像を再現できます。
プログレッシブ映像を楽しむには、プログレッシブ対応テレビが必要です。

ディスク (DVD/CD) の再生

全ディスクに共通する、基本的な再生方法について説明します。

準 備　テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。
(ビデオ２など)

1
ディスクを入れる

2
再生方法を選ぶ

3
再生する

音量を調節する

本体で

小さくなる　VOL　大きくなる

回す

DOWN　UP

リモコンで

小さくなる　大きくなる

– TV VOL +

VOLUME

押す

VOLUME　23

0 (最小)　50 (最大)

■途中で停止する ➡ 本体で STOP ■ – DEMO 押す　リモコンで STOP ■ 押す

“RESUME” と表示したときは、止めた位置が記憶されています。
(**続き再生メモリー機能** ☞ 18 ページ)

■再生中に他のディスクを交換する ➡ CHANGE ▲ 押す ▶ 1 ····· 5 押す

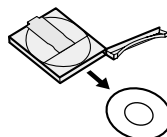
閉めるには、[CHANGE ▲] を押す。　**10秒以内**

■トレイのディスク (12cm) を確認する ➡ DISC CHECK 押す
(ディスクチェック)

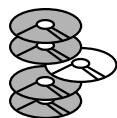
すべてのトレイが開きます。
再生中のトレイは開きません。
閉めるには、もう一度押す。

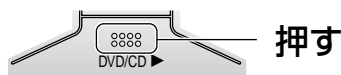
お願い　チェック中は、ディスクを出し入れしたり、トレイをひっぱったりしないでください。

① 1 2 3 4 5
好みのトレイを選んで押す（電源が入る）

●電源「切」時にディスクが入っているときは、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

② OPEN/CLOSE ▲ **押してトレイを開けディスクを入れる**

OPEN/CLOSE ▲ **もう一度押して閉じる**
（トレイを手で押して閉めない）

●カートリッジ付き DVD-RAM は、カートリッジから取り出す。

●トレイには、1 枚のディスクを置く。
●ラベル面を上に、図のように正しく置く。

12cm ディスク　8cm ディスク

リモコンのみ

停止中、同時に押して“1DISC”または“ALL DISC”を選ぶ

“ALL DISC”では、VCD CD WMA/MP3 のみ連続再生できます。
DVD-V DVD-A RAM JPEG では、連続再生できません。

■ **1 枚のディスクを再生するとき**

インジケーター
1 DISC
1 DISC

■ **すべてのディスクを連続再生するとき**

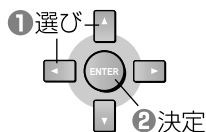
インジケーター
ALL DISC
ALL DISC

例）ディスク 3 から始めた場合
3→4→5→1→2 の順に再生します。

押す

インジケーターが点灯しているディスクの 1 曲目から、再生が始まります。

■ **再生を始めるディスクを選ぶときは**
（1DISC モードになります）

本体で　1 2 3 4 5 押す

リモコンで　ALL DISC DISC 押す ▶ 1 2 3 4 5 押す

10 秒以内

（または［DISC］→［▲、▼］→［ENTER］）

■ **メニュー画面が表示されたら**

DVD-V DVD-A VCD

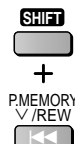
再生する項目を選択

数字ボタンや［|◀◀ ∨/REW、∧/FF ▶▶|］で選ぶディスクもあります。

メニュー画面に戻すときは

DVD-V DVD-A	［TOP MENU］（最初のメニュー画面へ）
DVD-V	［MENU］（メニュー画面へ）
VCD	［RETURN］

お知らせ
●テレビに“⊘この～”と表示したときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。
●映像や音声が出るまでに時間のかかることがありますが、故障ではありません。
●メニュー画面表示中も、ディスクは回転しています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への焼き付きなどを防ぐため、再生しないときは［■ STOP］を押して停止してください。
● VCD ALL DISC モードのとき、PBC（プレイバックコントロール）は解除されます。1DISC モードで PBC を解除するときは、メニュー画面表示中に［■ STOP］を押す。数字ボタンでの曲番指定などが可能になります。再び PBC に戻すときは、停止中に［MENU］を押す。

ディスクのいろいろな再生

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

記憶させた位置から再生

ポジションメモリー

ディスク５枚まで記憶できます。（６枚目以降は古い順に消去）

1 SHIFT ＋ P.MEMORY ∨/REW

再生中、記憶させる位置で同時に押す

（テレビ画面）位置を記憶しました

続けて押すと上書きされます。

次のような場合でも、位置を記憶しています。
- 電源を切る
- セレクターで音源を切り換える
- ディスクを取り出す

2 **記憶させた位置から再生するときは**

電源を入れて同じディスクを入れ、セレクターをDVD/CDに切り換える。

3

DVD/CD ●HI SPEED CD ▶ MD

押す（この時点で記憶は消去されます）

- ディスクによって記憶できない箇所があります。
- 1DISCモードでのみ再生できます。（ALL DISCモードでは、記憶操作はできますが、再生はできません）

■続き再生メモリー機能

“RESUME”表示中に、[▶DVD/CD]を押すと、停止位置から再生します。
“RESUME”が消えるまで［■STOP］を押すと、メモリーは解除されます。

■あらすじリプレイ機能

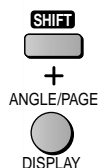
DVD-V の同一タイトル内のみ

再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。（テレビ画面）

このメッセージ表示中に［▶DVD/CD］を押すと、チャプターの冒頭部分を最初から順に再生した後、記憶させた位置から通常再生します。（押さなかったときは、記憶位置からすぐ再生します）

見逃した場面/曲を再生

クイックリプレイ

Q.REPLAY

再生中に押す

- 押すたびに７～10秒程度戻って再生します。（同一番組/タイトル/トラック内のみ有効）
- JPEG では働きません。

好みの静止画を選ぶ

ページスキップ

DVD-A（静止画付）

SHIFT ＋ ANGLE/PAGE

DISPLAY

再生中に同時に押して選ぶ

共通の準備

再生するディスクを選ぶ ➡ ALL DISC DISC ▶ 10秒以内 ①②③④⑤ ▶ STOP ■

場面/曲を番号で選ぶ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

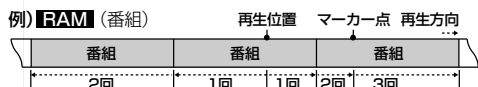
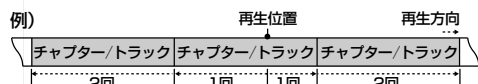
再生するディスクを選び（上記参照）押す

WMA/MP3 JPEG は選んだあと[ENTER] を押す。
再生が始まります。

●停止中のみ働くディスクもあります。
● DVD-A 先にグループを選びます。（☞ 20 ページ）

■2ケタ以上を選ぶには

例）25

≧10 ▶ 2 ▶ 5

WMA/MP3 JPEG は、[≧10] なしで数字だけ選んだあと [ENTER] を押す。

場面/曲をとび越す

スキップ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

P.MEMORY ∨/REW　GROUP ∧/FF

再生中／一時停止中に数回押す
押した回数だけとび越します。

例）再生位置　再生方向
チャプター/トラック | チャプター/トラック | チャプター/トラック
2回　1回　1回　2回

例）RAM（番組）再生位置　マーカー点　再生方向
番組 | 番組 | 番組
2回　1回　1回　2回　3回

RAM
●マーカーが記録されているときは、マーカー位置までとび越します。
●プレイリスト再生（☞ 22 ページ）では、シーンの開始点までとび越します。
●コマーシャルが録画されていると、そこにとび越すことがあります。

WMA/MP3 JPEG
[▲、▼] を押すと、グループをとび越します。

早送り/早戻し

サーチ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

∨TV CH∧ SLOW/SEARCH

再生中に数回押す
押すたびに速くなります。（5 段階）

通常再生に戻すには
[▶DVD/CD] を押す。

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD
早送り 1 段階目のみ音声が聞こえます。（音声を消すには☞ 57 ページ）

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM
再生速度を微調整できます。（☞ 61 ページ）

一時停止/スロー再生/コマ送り

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

一時停止

DISC PAUSE

再生中に押す

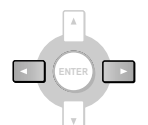
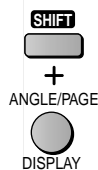
一時停止/スロー再生/コマ送りを通常再生に戻すには
[▶DVD/CD] を押す。

DVD-V RAM DVD-A（動画部のみ） VCD（正方向のみ）

スロー再生

∨TV CH∧ SLOW/SEARCH

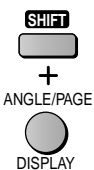
一時停止中に押す
押すたびに速くなります。（5 段階）

コマ送り/コマ戻し

一時停止中に押す
●押したままにすると、連続してコマ送り／コマ戻しします。
● [❚❚ DISC PAUSE] でも可能です。

アングル切換/画像回転

アングル切換

DVD-V DVD-A（動画部のみ）

SHIFT ＋ ANGLE/PAGE DISPLAY

複数のアングルがあるディスクを再生中に同時に押す
押すたびに、アングルが切り換わります。
ディスクによってはメニュー画面でのみ切換可能なものもあります。

画像回転

JPEG

SHIFT ＋ ANGLE/PAGE DISPLAY

再生中に同時に押す
押すたびに、右に 90°ずつ回転します。

お知らせ
GUI メニューでスライドショーの入/切や表示間隔の設定も行えます。（☞ 59 ページ）

ディスクのいろいろな再生（つづき）

DVD-A WMA/MP3 JPEG

グループを選んで再生

1 SHIFT ＋ GROUP ∧/FF ▶▶| **同時に押す**

例） WMA/MP3 （テレビ画面）

5秒以内

2 ❶選び ❷決定 **グループを選択**

選んだグループの再生が始まります。

お知らせ

グループは、数字ボタンでも選べます。

ボーナスグループを再生

DVD-A

ボーナスグループ付きディスクは、暗証番号（ジャケットなどに記載）を入力することでボーナスグループを再生できます。

① 停止中に [SHIFT]＋[GROUP] を同時に押す。
② [▲、▼] でボーナスグループを選び、[ENTER] を押す。
③ 数字ボタンで画面に暗証番号を入力し、[ENTER] を押す。
まちがえたときは、[CANCEL] を押してやり直す。
ボーナスグループの再生が始まります。

お知らせ

電源を切る、セレクターで音源を切り換える、トレイを開ける、などの操作をすると、暗証番号の再入力が必要になる場合があります。

すべてのグループを再生

DVD-A

① 停止中に [PLAY MODE] を押し、[ENTER] を押す。
② [▲、▼] で“ALL GROUP”を選び、[ENTER] を押す。
③ [▶DVD/CD] を押す。
再生が始まります。

解除するには、上記手順①の後、“OFF”を選択する。

好みの順に再生

プログラムプレイ

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

最大24曲/チャプターまで予約できます。

"ALL DISC"設定時

VCD CD WMA/MP3

すべてのディスクから予約できます。

準備 [SHIFT]＋[ALL DISC]を同時に押して"1DISC"または"ALL DISC"を選ぶ。

1 停止中に同時に押す

押す

2 ❶選び ❷決定

① **"ALL DISC" 設定時 ディスクを選択**

② DVD-V DVD-A WMA/MP3 JPEG **タイトル/グループを選択**

③ **チャプター/トラックを選択**

①〜③をくり返し、予約を完了する

（前後のページを見るときは、[SHIFT] ＋ [ANGLE/PAGE]）

- 数字ボタンでも選べます。
- "ALL" が表示している場合、選択すると、ディスク、タイトル、またはグループ内の全曲が予約されます。
- ディスクにない曲は、予約しても無効です。

3 DVD/CD ●HI SPEED CD ▶ MD **押す**

再生が始まります。

■**予約を変更するときは**

① [▲、▼] で変更する項目を選ぶ。

② **変更**： [ENTER] を押し、手順2の操作で変更する。

取り消し：[CANCEL] を押す。（"クリア" を選び [ENTER] を押しても取り消せます）

■**すべての予約を取り消すときは**

[▲、▼、◀、▶] で "オールクリア" を選び、[ENTER] を押す。

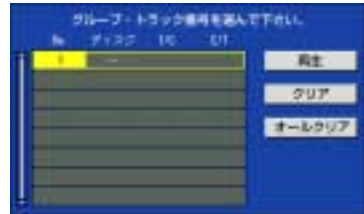
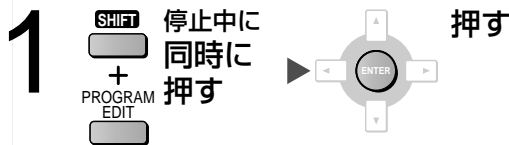
■**解除する**

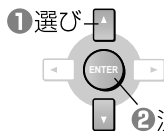
停止中に [SHIFT] ＋ [PROGRAM] で表示部の "PGM" を消す。

お知らせ

電源を切る、セレクターで音源を切り換える、トレイを開ける、などの操作をすると、予約は取り消されます。

順不同に再生

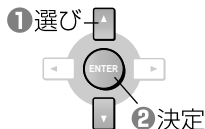
ランダムプレイ

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

"ALL DISC"設定時

VCD CD WMA/MP3

すべてのディスクを順不同に再生できます。

準備 [SHIFT]＋[ALL DISC]を同時に押して"1DISC"または"ALL DISC"を選ぶ。

1 REPEAT PLAY MODE 停止中に押す ▶ 押す

2 ❶選び ❷決定

① **"RANDOM" を選択**

② VCD CD以外 **"ALL" またはタイトル/グループ番号を選択**

例） WMA/MP3

（テレビ画面）

DVD-A

- [◀、▶] で "オール" またはグループ番号を選び、[ENTER] を押す。（複数のグループが選べます）
- 数字ボタンでも選べます。
- 取り消すには、数字ボタンでグループ番号を入力する。

3 DVD/CD ●HI SPEED CD ▶ MD **押す**

再生が始まります。

■**解除する**

停止中に、上記手順1の後、"OFF" を選択する。

メニュー画面を使って再生

RAM（プログラムナビ）：番組リストが表示されます。
RAM（プレイリスト）　：好みのシーンを集めたリストが表示されます。
CDテキスト　　　　　：記録されているディスク／アーティスト／トラック名が表示されます。
WMA/MP3 **JPEG**　　：パソコンで付けたフォルダ名/ファイル名は、グループ名/コンテンツ名として表示されます。

1

TOP MENU
DIRECT NAVIGATOR

押す
（再度押すと消える）

例）**RAM**（プログラムナビ）

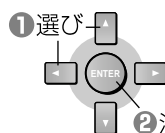
MENU
SP/LP
PLAY LIST

押す
（再度押すと消える）

●プレイリスト選択中に［▶］を押して“シーン一覧”を選ぶことで、好きなシーンを再生することができます。

例）**RAM**（プレイリスト）

MENU
SP/LP
PLAY LIST

押す
（再度押すと消える）

● **CDテキスト** **JPEG** についても同様です。

例）**WMA/MP3**（ナビメニュー）

2

番組/プレイリスト/グループ/コンテンツ/トラックを選択

再生が始まります。

RAM（プログラムナビ）
背景で、選んだ番組が再生されます。
●番組やプレイリストは、数字ボタンでも選べます。
●静止画を再生中は、表示部に“S-PIC”と表示されます。

お知らせ

RAM

番組/プレイリスト/静止画（JPEG）の混在ディスクで静止画（JPEG）を再生するときは、次のように操作します。
① 停止中に［DISPLAY］を押す。
② ［▲、▼］で“その他の設定”を選び、［ENTER］を押す。
③ 同じ操作で“その他のメニュー”を選択する。
④ 同じ操作で“データディスクとして再生”を選択する。

WMA/MP3 **JPEG**

ディスクを入れると、**再生コンテンツメニュー**が表示されます。
●再生するコンテンツの種類が選べます。
●音楽/静止画の混在ディスクで“オール”を選び、先に静止画を再生すると、静止画を表示させたまま音楽を楽しむことができます。

（［TOP MENU］を押しても表示）

ナビメニューの便利な使いかた

1 ANGLE/PAGE DISPLAY **ナビメニュー表示中に押す**

サブメニューが表示されます。

2 ❶選び ❷決定 **項目を選択**

- 表示形式を、マルチ/リスト/ツリー/サムネイル（JPEG のみ）から選べます。
- 前後のグループに移動できます。
- 再生するコンテンツの種類を選べます。

■ひとつ前の画面に戻るときは
[RETURN] を押す。

■グループ/コンテンツをタイトルで検索する WMA/MP3 JPEG

- ハイライトが画面左にあるときはグループ検索、右にあるときはコンテンツ検索になります。
- ひらがな、カタカナ、英数字を、**ローマ字**で検索します。（大文字／小文字は区別されません）

例）タイトルに「うた」を含む曲を探す。
① サブメニューの“検索”を選び、[ENTER] を押す。
② [▲、▼] で“U”を選び、[ENTER] を押す。
[▲] を押すたびに
A→B→…→Z→0→1→…→9→A...
続けて“T”“A”と選びます。
“＊”は消さないでください。
③ [▶] で“検索”を選び、[ENTER] を押す。
④ [▲、▼] で曲を選び、[ENTER] を押す。
再生が始まります。

入力した文字で始まるタイトルを探す
手順①の後、[◀] で“＊”を消してから入力する。

お知らせ
- 数字は、数字ボタンでも入力できます。
- [◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶] で「A、E、I、O、U」にスキップします。
- 確定した文字を変更するには、[◀] で文字をハイライトさせ、選び直します。

HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクの再生

ディスクを入れると、“HighMAT”とメニュー画面が表示されます。

❶選び ❷決定 **好みのプレイリストを選択**

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

メニュー画面に戻るには
[TOP MENU] を押す。
（[RETURN] を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります）

ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには
メニュー画面表示中、[DISPLAY] を押す。

メニュー画面を消すには
[■ STOP] を押す。

■リスト画面から選んで再生する
① 再生中に、[MENU] を押す。
（再度押すと消える）

② [◀] → [▲、▼] でプレイリスト／グループ／コンテンツのリストを切り換える。
③ [▶] → [▲、▼] で選び、[ENTER] を押す。

お知らせ
- プログラムプレイ／ランダムプレイなどをするときは、あらかじめ次のように操作します。
  ① [SHIFT] ＋ [SETUP] を同時に押す。
  ② [▲、▼] で“その他”を選び、[ENTER] を押す。
  ③ 同じ操作で“HighMAT 再生”を選択する。
  ④ 同じ操作で“切”を選択する。
  停止中に GUI メニューで“データディスクとして再生”を選んでも同じ働きをします。
  （☞ 58、60 ページ）

メニュー画面を使って再生（つづき）

映像を拡大

ぴったりズーム

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM VCD

いろいろな縦横比の映像を拡大し、お使いのテレビの画面サイズに近づけます。

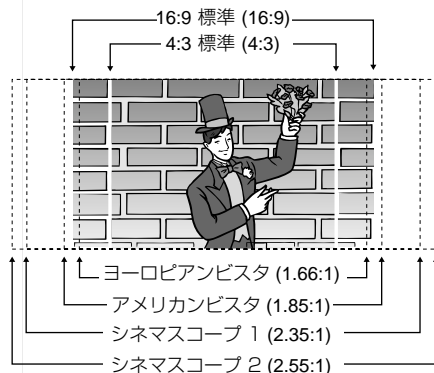
準 備

「初期設定」の“TV アスペクト”をテレビに合わせて設定する。（☞ 56 ページ）

再生中に、GUI メニューで（☞58 ページ）“その他の設定”→“表示メニュー”を選び

ぴったりズームの種類を選択

スクリーンサイズ（縦横比）が切り換わります。

■ぴったりズームの種類について

お知らせ

ぴったりズームで「オート」を選択したときは

- テレビのオートズーム機能を「切」にしてください。
- 映像全体が暗いときは、ズームしないことがあります。
- 映像の黒い部分が激しく変化するようなディスクでは、正しくズームしないことがあります。
- 映像の上下が隠れるときは「任意ズーム」（☞ 60 ページ）をお使いください。

音声の切換

DVD-V **DVD-A** **RAM**
VCD

複数の音声があるディスクの再生中に、GUI メニューで“音声”を選び

音声の種類を選択（☞ 58、59 ページ）

DVD-V **DVD-A** VCD

カラオケディスクはカラオケの入／切ができます。ジャケットなどをご覧ください。

DVD-A

- 切り換わる音声がなくても、音声番号は 2 つまで表示されます。
- 静止画付トラックと音声のみのトラックでは、音声が切り換わると、曲の先頭に戻ります。

字幕の切換

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM（入／切のみ）
VCD（SVCD のみ）

複数の字幕があるディスクの再生中に、GUI メニューで“字幕”を選び

字幕を「入」にし、字幕言語を選択
（☞ 58、59 ページ）

お知らせ

- 表示するまでに、少し時間がかかることがあります。
- SVCD は、複数の字幕/音声がなくても番号のみ切り換わります。
- 当社製 DVD ビデオレコーダーで作成したディスクは、字幕の入/切ができません。

くり返し再生

リピート

ALL DISC モードやランダムプレイとも組み合わせて使えます。

1 再生中に、GUI メニューで（☞ 58 ページ）"その他の設定" → "再生メニュー" を選び
"リピート" を選択

2 ❶選び ❷決定

くり返しモードを選択

再生中に、[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押して選ぶこともできます。

■HighMAT で記録されたディスクのときは
"CONTENT REPEAT"（1 コンテンツ）または "GROUP REPEAT"（1 グループ）が選べます。

■好みの場面/曲をくり返し再生するときは
① 場面/曲を好みの順に再生する。（☞ 21 ページ）
② 再生中に [SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押して "ALL REPEAT" または "ALL DISC REPEAT" を選ぶ。

■解除する
GUI メニューで "切" にする。
[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押して "REPEAT OFF" を選んでも解除されます。

1 DISC モード時

モード	対応ディスク
TRACK REPEAT(1 曲)	DVD-A VCD CD
CONTENT REPEAT (1 コンテンツ)	WMA/MP3
GROUP REPEAT (1 グループ)	DVD-A WMA/MP3 JPEG
DISC REPEAT (再生中のディスク全曲)	RAM VCD CD
ALL REPEAT (ランダム/プログラムなどのプレイモード設定をした全曲)	DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG
CHAPTER REPEAT (1 チャプター)	DVD-V
TITLE REPEAT (1 タイトル)	DVD-V
PG REPEAT (1 プログラム)	RAM
SCENE REPEAT (1 シーン)	RAM
PL REPEAT (1 プレイリスト)	RAM

ALL DISC モード時

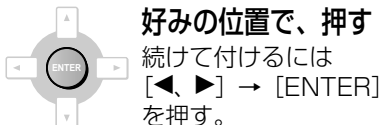
モード	対応ディスク
TRACK REPEAT(1 曲)	VCD CD
CONTENT REPEAT (1 コンテンツ)	WMA/MP3
GROUP REPEAT (1 グループ)	WMA/MP3
DISC REPEAT (再生中のディスク全曲)	VCD CD
ALL DISC REPEAT (通常再生時：全ディスク全曲) (ランダム/プログラムなどプレイモード設定時：設定した曲全曲)	VCD CD WMA/MP3

2 点間をくり返す

A-B リピート

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

1 再生中に、GUI メニューで（☞ 58 ページ）"その他の設定" → "再生メニュー" を選び
"A-B リピート" を選択

2 **始点（A）で押す**
▼
終点（B）で押す

■解除する
① GUI メニューで "A-B リピート" を選択する。
② [ENTER] を押して "＊＊" を表示させる。

好みの位置にマークを付ける

マーカー

最大 5 カ所まで付けられます。

1 再生中に、GUI メニューで（☞ 58 ページ）"その他の設定" → "再生メニュー" を選び
"マーカー" を選択

2 **好みの位置で、押す**
続けて付けるには [◀、▶] → [ENTER] を押す。

■マークを付けた位置から再生する
[◀,▶] で再生するマーカーを選び、[ENTER] を押す。

■マークを取り消す
[◀,▶] で取り消すマーカーを選び、[CANCEL] を押す。

お知らせ
●電源を切る、セレクターで音源を切り換える、トレイを開ける、ディスクを交換する、などの操作をすると、マーカーは解除されます。
●プログラムプレイ/ランダムプレイでは働きません。

RAM
● "マーカー（VR）" を選択して、ディスクにあらかじめ付いていたマーカーにとび越すことができます。（☞ 59 ページ）
●マークを付けることはできません。
●プレイリスト再生時は働きません。

MDの再生

1
MDを入れる

2
再生する

電源

音量を調節する

本体で

小さくなる　VOL　大きくなる

回す

リモコンで

小さくなる　－ TV VOL ＋　大きくなる

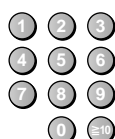
VOLUME

押す

VOLUME　23

0（最小）　50（最大）

■途中で停止する ➡ 本体で STOP ■ –DEMO 押す　リモコンで STOP ■ 押す

■一時停止する ➡ DISC PAUSE Ⅱ 押す

再開するには、[▶MD] を押す。

■MDを取り出す ➡ EJECT ▲ 押す

■曲をとび越す（スキップ） ➡ （再生中/一時停止中）

P.MEMORY ∨/REW ⏮　GROUP ∧/FF ⏭ 押す

■早送り/早戻しする（サーチ） ➡ （再生中/一時停止中）

∨TV CH∧ SLOW/SEARCH ◀◀ ▶▶ 聞きたい位置まで押したままにする

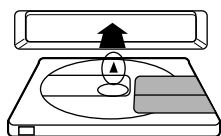
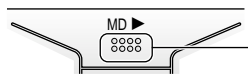
■曲を番号で選ぶ ➡ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10 押す

2ケタ以上を選ぶには

● 2ケタ：例）25

≧10 ▶ 2 ▶ 5

● 3ケタ：例）125

≧10 ▶ ≧10 ▶ 1 ▶ 2 ▶ 5

MDを入れる

電源が入り、途中から自動的にMDが引き込まれます。

セレクターがMDのとき

MD
17　54：30
曲数　総再生時間

（1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC"と表示されます）

押す

再生が始まります。

再生中の曲番　再生経過時間

●電源「切」時にMDが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
●他の機器で作成した長時間モノラル録音のMDを再生すると、表示部に"MONO"と表示されます。

■ MDLP（長時間ステレオ録音／再生）について

MDLP では、音声圧縮技術によって、長時間（2倍または4倍）のステレオ録音/再生が可能です。
録音したときのモード（SP／LP2／LP4）に従って再生します。

再生時には、表示部に次のように表示されます。
● 標準時間録音モードで録音した曲："SP"
● 2倍長時間録音（ステレオ）した曲："LP2"
● 4倍長時間録音（ステレオ）した曲："LP4"

1　0：01

MDLP で録音する（☞ 37ページ）

■再生をくり返す（リピート）

（再生中）

SHIFT ＋ REPEAT PLAY MODE

同時に押して選ぶ
"TRACK REPEAT"：1曲のみ
"ALL REPEAT"：全曲

ALL REPEAT

（解除するときは"REPEAT OFF"）

プログラムプレイ、ランダムプレイと組み合わせることもできます。
① プログラムプレイ、ランダムプレイの設定をする。（☞ 28ページ）
② [SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押して"ALL REPEAT"を選ぶ。

■タイトルや残り時間などを見る

押す

MD
Rem　38:00

テレビ画面でも、本機の音量やMDのタイトルなどを確認できます

●他の機器で付けた漢字のディスク/トラックタイトルでも、テレビ画面で表示できます。（JIS第一水準まで）
漢字とカナを切り換えるには [DISPLAY] を押す。
●タイトルの漢字部分は、本機では変更できません。

MD のいろいろな再生

好みの順に再生

プログラムプレイ

最大 24 曲まで予約できます。

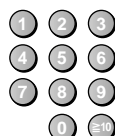
1

SHIFT ＋ PROGRAM EDIT

停止中に
同時に押す

PGM
PROGRAM

2

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

押して
曲番を選ぶ

■2 ケタ以上を選ぶには
● **2 ケタ**：例）25

≧10 ▶ 2 ▶ 5

● **3 ケタ**：例）125

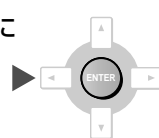
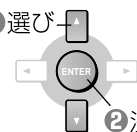
この操作をくり返し、予約を完了する

3

押す
再生が始まります。

■解除する
停止中に [SHIFT] ＋ [PROGRAM] を同時に押して“PGM”を消す。

■予約を追加する
停止中に、数字ボタンで曲番を選ぶ。

■予約を確認する
停止中に、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭] を押す。

■すべての予約を取り消す
停止中に [■STOP] を押す。
“ALL CLEAR”が表示され、すべての予約が取り消されます。（特定の予約を取り消すことはできません）

順不同に再生

ランダムプレイ

1

REPEAT PLAY MODE

停止中に押す

押す

2

❶選び
❷決定

“RANDOM”を選択

RND
RANDOM

3

押す
再生が始まります。

■解除する
手順 1 の後、“OFF”を選択する。

共通の準備

セレクターを MD にする ➡ MD ▶ ● REC/❚❚ ▶ STOP ■

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」（☞ 61 ページ）

曲をグループにまとめる

グループ

最大 99 グループまで作れます。

1 PROGRAM EDIT

停止中に押す

EDIT MODE

押す

2

❶選び ❷決定

① **“GROUP?” を選択**
② **“SET?” を選択**

3

❶選び ❷決定

① **グループ先頭の曲番を選択**
② **グループ最後の曲番を選択**

グループタイトルを入力する
（☞ 47 ページ）

4

押す
“UTOC Writing” の点滅後、グループ化が完了します。

■グループタイトルを変更する
① 左記手順 **2**- ①まで進んだ後、[▲、▼] で “TITLE?” を選び、[ENTER] を押す。
② [▲、▼] でグループを選び、[ENTER] を押す。
③ タイトルを入力する。（☞ 47 ページ）
④ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” の点滅後、名前が変更。

■ひとつのグループを解除する
① 左記手順 **2**- ①まで進んだ後、[▲、▼] で “RELEASE?” を選び、[ENTER] を押す。
② [▲、▼] で解除するグループを選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” の点滅後、選んだグループが解除。

■全グループを解除する
① 左記手順 **2**- ①まで進んだ後、[▲、▼] で “ALL RELEASE?” を選び、[ENTER] を押す。
② [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” の点滅後、すべてのグループが解除。

お知らせ

- MD に録音した複数の曲を、1 つのグループとして管理できます。
- グループ化できるのは、連続した曲（例：3 曲目～9 曲目）のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- [▲、▼] の操作は、[|◀◀ ∨/REW、∧/FF ▶▶|] でもできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

グループを選んで再生

1 グループ・プレイ

1 REPEAT PLAY MODE **停止中に押す** ▶

押す

2

❶選び ❷決定

“1-GRP PLAY” を選択

3 P.MEMORY ∨/REW |◀◀ GROUP ∧/FF ▶▶| **好みのグループが表示されるまで押したままにする**

G 1∗My Best

グループに付けたタイトル

4 MD ▶ ● REC/❚❚ **押す**
再生が始まります。

■解除する
左記手順 **1** の後、[▲、▼] で “OFF” を選び、[ENTER] を押す。

■グループをとび越す（グループ・スキップ）
停止中に、好みのグループが表示されるまで [|◀◀ ∨/REW、∧/FF ▶▶|] を押したままにする。

■ 1 グループをくり返し再生する（1 グループ・リピート）
① 左記手順 **3** まで進んだ後、[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押して “GROUP REPEAT” を選ぶ。
② [▶MD] を押す。

テープの再生

再生できるテープ

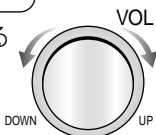
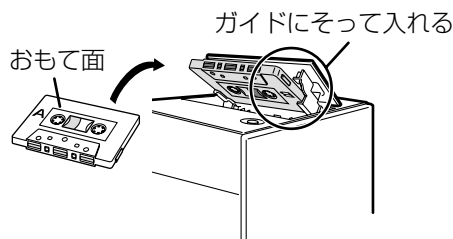
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ ※（ハイポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ ※（メタルポジション）	○

※ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができませんが、再生することはできます。

電源

1 テープを入れる

2 再生する

3 リバースモードを選ぶ

テープのたるみを取る

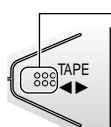
押してホルダーを開け

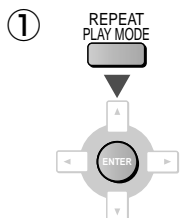
（電源が入る）

テープを入れる

⬇

手でホルダーを閉める

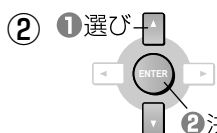
テープ走行方向は、自動的におもて面“F ▷”になります。

押す

再生が始まります。

●電源「切」時にテープが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、おもて面の再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

押すたびに

F ▷（おもて面を再生）
◁R（裏面を再生）

リモコンのみ

①

押す

REVERSE MODE
▼
AUTO REVERSE

② ❶選び ❷決定

リバースモードを選択

AUTO REVERSE

押すたびに

ONE WAY : ⇄ （片面だけ再生して自動停止）
AUTO REVERSE : ⇄ （おもて面→裏面を再生して自動停止）
REPEAT : ⇄ （両面をくり返し再生）

■途中で停止する ➡

本体で

押す

リモコンで

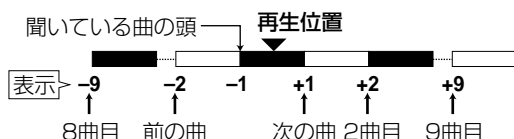
押す

■早送り/巻戻しする ➡

（停止中）

押す

お知らせ

● ［❚❚ DISC PAUSE］ボタンは、DVD/CD と MD 専用です。テープでは働きません。
●リバースモードは、セレクターが“TAPE”のときのみ切り換えられます。

■曲をとび越す（TPS） ➡

（再生中）

数回押す

TPS：Tape Program Sensor-機能（テープ プログラム センサー）
（次曲方向 9 曲、前曲方向 8 曲までとび越し可能）

お知らせ

TPS は、曲間の約 4 秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
●曲間が短い
●曲間に雑音がある
●曲中に無音に近い部分がある

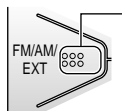
ラジオを聞く

1 バンドを選ぶ

2 放送局を探す

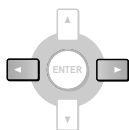
電源

■自動選局する
（オートチューニング）

■FM ステレオ放送で
雑音が多いときは

お知らせ

- ●オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- ●本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- ●山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの設置をおすすめします。
- ●テレビの電源を切ると受信状態がよくなることがあります。

● AM ループアンテナ、FM 簡易型アンテナを接続する。（☞ 8 ページ）
接続しないと、放送局を受信できません。
テレビ音声（1 ～ 3 チャンネルのみ）は、FM で受信します。

押して “FM” または “AM” を選ぶ

押すたびに
FM→**AM**→AUX1→AUX2→P-MD

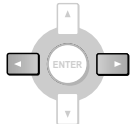
●電源「切」時は、自動的に電源が入り、FM または AM を受信します。
（ワンタッチプレイ）

FM 76.0 MHz

リモコンのみ

押して 好みの放送局を受信する

テレビの受信位置は
FM 76.0 ←……→ FM 90.0
TV 3ch ←→ TV 2ch ←→ TV 1ch

FMステレオ放送の受信時に点灯

[◀、▶] の操作は、
[◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶] でもできます。

① **周波数が動き始めるまで**
押したままにする
② **動き始めたら**
指を離す

放送を受信すると、周波数が止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。
[◀、▶] の操作は、
[◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶] でもできます。

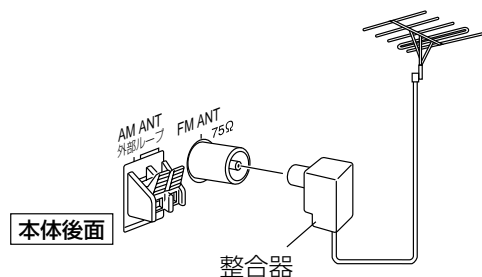
押す

▼

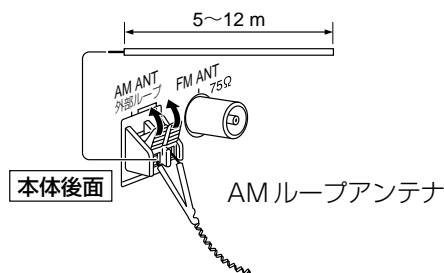
“FM MODE” を選択

▼

“MONO” を選択
（解除するときは、同じ操作で “AUTO STEREO” を選択）

FM MONO 88.1 MHz

■屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

● FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）を整合器（市販）に取り付けて、本機に接続します。
FM 簡易型アンテナ（付属）は取り外します。

● AM（市販のコードの利用）

窓際などに水平に取り付け、本機に接続します。
AM ループアンテナは取り外さないで、いっしょに接続します。

再生

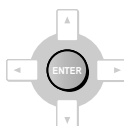
ラジオを聞く

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で受信できます。(FM/AM 各 15 局まで)

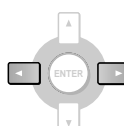
記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 REPEAT PLAY MODE 受信中に押す

4

押す

放送局が各チャンネルに記憶されます。

好みの放送局をチャンネルに記憶させる

マニュアルメモリー

エリアバンク設定後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶させられます。

1

受信中に選局する

または

∨ TV CH ∧ SLOW/SEARCH

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1 FM/AM/EXT 押してバンドを選ぶ

押すたびに

FM→AM→AUX1
↑　　　　　↓
P-MD ← AUX2

エリアバンク(2004 年 1 月現在)

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏 (大阪、神戸、京都)
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松/岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏 (東京、横浜、千葉、さいたま)	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏 (名古屋、岐阜)	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

2

“AREA BANK”
を選択

AREA BANK

3

P.MEMORY ∨/REW　GROUP ∧/FF

押して
エリア番号（☞ 左下の表）
を選ぶ

エリア番号は、［▲、▼］や数字ボタンでも選べます。

エリア内の最初の放送局名が表示されます。

例）トウキョウケン（東京圏）

エリア内の最初の放送局名　チャンネル　周波数

■途中で解除する ➡ STOP

2

同時に押す

3

約10秒の“－”点滅中に
押してチャンネルを選ぶ

放送局が選んだチャンネルに記憶されます。

続けて記憶させるときは、手順1～3をくりかえす

■途中で解除する ➡ SHIFT ＋ PROGRAM EDIT

2

または

P.MEMORY ∨/REW　GROUP ∧/FF

押して
チャンネルを選ぶ

選んだチャンネルの放送局を受信します。

ch 1

Inter FM

［▲、▼］でも選べます。

お知らせ

エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと、放送局名が表示されます。

数字ボタンの使いかた

押して
エリア番号やチャンネルを選ぶ

■2ケタ以上を選ぶには

●例）12

●例）25

再生

放送局を記憶させて聞く

ディスク (DVD/CD) を MD に録音

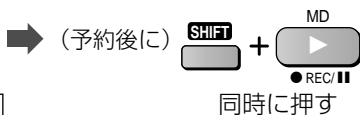
お願い 録音中は GUI メニュー（☞ 58～60 ページ）を操作しないでください。録音が途切れる原因になります。

準 備
① ディスクと、録音用 MD を入れる。（☞ 17、27 ページ）
② ［▶DVD/CD］を押してセレクターを“DVD/CD”にし［■ STOP］を押す。
③ アドバンスド・サラウンドとマルチ リ.マスターを「切」にする。（☞ 54、60 ページ）
④ 音声/静止画の混在ディスクを録音するときは、再生コンテンツメニューを表示させ、「音声」を選ぶ。（☞ 22 ページ）

DVD-V RAM VCD WMA/MP3
録音はアナログ録音になります。

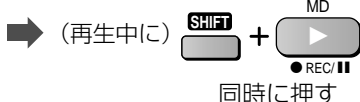
DVD-V DVD-A
ディスクによって部分的に、または全体を録音できないものがあります。部分的に録音できない場合は、そこで録音が停止します。録音できる位置までスキップして録音してください。

DVD-A
- 48 kHz を超える周波数のトラックは 48 kHz にダウンサンプリングされて録音されます。（光出力からは初期設定値に関係なく 48 kHz のデジタル信号が出力されます）
- “COPY PROTECTED”と表示されるディスクは録音できません。

1 LP モードを選ぶ

2 録音方法を選ぶ

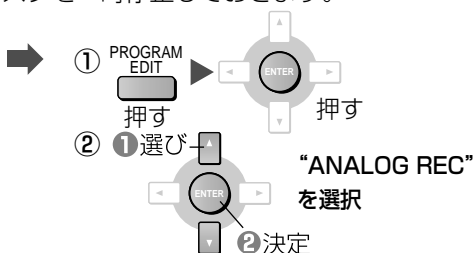
3 通常/高速で録音する

■好み の曲を予約して録音する（プログラム録音）

➡（予約後に）SHIFT ＋ MD ▶ ● REC/❚❚ 同時に押す

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3

録音したい曲をプログラム予約します。（☞ 21 ページ）
録音後は予約を解除してください。（高速録音はできません）

■気に入った曲をすぐ録音する（追っかけ録音）

➡（再生中に）SHIFT ＋ MD ▶ ● REC/❚❚ 同時に押す

曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。
曲の途中から録音するときは、ディスクを一時停止しておきます。

■アナログ録音モードにする

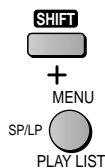
著作権保護の目的からデジタル録音が禁止されているディスク（“SCMS”“CAN'T COPY”表示）の場合は、アナログ録音モードにして録音してください。（高速録音はできません）

➡ ① PROGRAM EDIT 押す ▶ 押す

② ❶選び ❷決定
“ANALOG REC”を選択

■途中で止める

■一時停止する

■MDの残り時間が知りたい

同時に押して LPモードを選ぶ

LP2　MODE

SPモード　：通常ステレオ録音モード
LP2モード：ステレオ長時間(2倍)録音モード
LP4モード：ステレオ長時間(4倍)録音モード

■ MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

録音できる時間の違い

ディスクの種類 ＼ LPモード	SP	LP2	LP4
74分のMDディスク	74分	148分	296分
80分のMDディスク	80分	160分	320分

- 本機でLP2またはLP4で録音した曲は、 MDLP に対応した機器以外では再生できません。
- LP4は、特殊な圧縮方式によって長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視して録音するときは、SPまたはLP2で録音してください。
- カーオーディオが MDLP に対応していないときは、SPで録音してください。

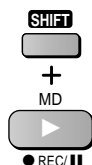
停止中、同時に押して “1DISC”または“ALL DISC”を選ぶ

1DISC　　：1枚のディスクを録音
ALL DISC：すべてのディスクを連続録音

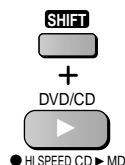
“ALL DISC”は、VCD CD WMA/MP3のみ有効です。

例）ALL DISC　インジケーター

ALL DISC

シンクロ録音（通常録音）するとき

同時に押す

インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から録音します。
（ディスクの再生が終わると、MDも自動停止）

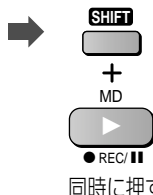
高速録音するとき

同時に押す

インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から高速録音します。
（ディスクの再生が終わると、MDも自動停止）
CDのみ有効です。

●高速録音の制限については、38ページをご覧ください。

押す

UTOC Writing

（点滅後に録音完了）

同時に押す

MDは一時停止し、ディスクは再生を続けます。
再開するには、再度同時に押す。
（トラックマークが付きます）

DIMMER
FL DISPLAY

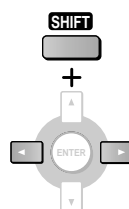
数回押す。

CD
MD Rem　38:00

（LPモードによって残り時間は変わります）

■録音レベルを調整する

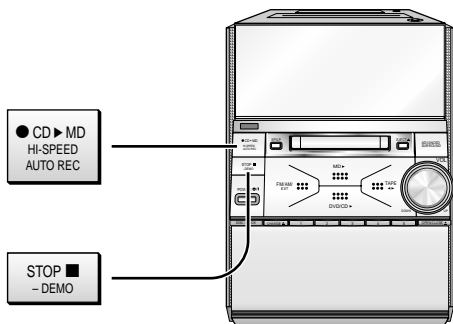
録音してみて音量に不足を感じる場合は、レベルを調整し、もう一度録音してください。
ディスク、ラジオ、テープ、ポータブルMD、その他の別売り機器からMDに録音するとき有効です。

SHIFT
+

ディスクなどのソース（音源）再生中、
同時に押して調整する

曲中の最大音量のとき、入力レベルが上限ポイントを超えないようにします。
- ±10dBの範囲で調整できます。
- 調整中、スピーカーからの音は変化しません。
- レベル表示は、ボタン操作がないと、約10秒で消えます。
- 電源を切ると、“0 dB”に戻ります。

5CDイッキ録り(高速録音)

準 備 ① CDと、録音用MDを入れる。(☞ 17、27ページ)
② LPモードを選ぶ。(☞ 37ページ)

CD 専用

●ディスク1から順に、本機に入っているCDをすべて高速録音します。
●各CDが1つのグループとして録音されます。
(UTOCエリアに空きがないときは、グループになりません)

● CD ▶ MD HI-SPEED AUTO REC

停止中に、押す

AUTO REC
↓
Checking TOC (CDをチェック中)
↓
HIGH SPEED
↓
READING DATA (データを読みとり中)
↓
||||| — — — — —
↓
HIGH SPEED (録音開始)

■途中で止める
[STOP ■] を押す。
"UTOC Writing" と表示して録音が完了します。

●全曲でなく、途中までしか録音できないときは、録音できる範囲を表示します。(約6秒間)
例) "DISC 5 TR10" ⟷ "マデロクオンカノウ"
ディスク5の10曲目まで録音可能なことを表しています。
表示中に [STOP ■] を押すと、5CDイッキ録りを解除できます。
LPモードを選び直すことで、全曲録音できる場合があります。

● **"REC RETRY 1 (または2)" と表示したら**
ディスク情報をうまく読みとれなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

● **"SPEED CHANGE" と表示したら**
録音速度を変更しています。

● **"DISC CHANGE" と表示したら**
ディスク交換しています。

CD→MD高速録音機能について

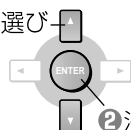
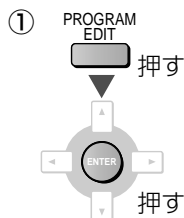
- CDからMDに最大6倍速で録音します。
(ディスクや条件によっては最大速にならない場合もあります)
- 高速録音時は音声が聞こえません。

■高速録音には次のような制限があります
本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。

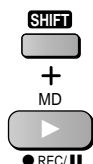
録音終了から74分経過しないと、同じCDを高速録音できません
録音を途中で止めたときでも、続けて同じCDは高速録音できません。
(通常録音は可能です)

一度に24枚まで録音できます
約74分以内に、それぞれ異なる24枚のCDは高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。
さらに高速録音しようとして、"PLEASE WAIT ○○ min." (○○は数字) と表示したときは、○○分待ってから高速録音してください。

ラジオ/テープを MD に録音

準備 ①録音用 MD を入れる。（☞ 27 ページ）
②LP モードを選ぶ。（☞ 37 ページ）
③テープを MD に録音するときは、テープを入れる。（☞ 31 ページ）

ラジオを MD に録音

ラジオ→ MD

1 録音したい放送を受信する
（☞ 32 ページ）

88.1 MHz

2 録音モードを選ぶ

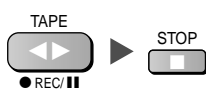
① PROGRAM EDIT 押す
押す

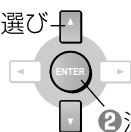
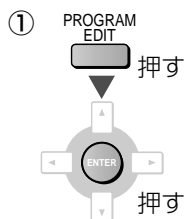
② ❶選び ❷決定

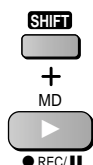
押すたびに
MANUAL（通常の録音モード）
↑ ↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 SHIFT + MD ● REC/❚❚

同時に押す
録音が始まります。

REC
88.1 MHz

お知らせ
エリアバンクで記憶させたチャンネルを録音すると、放送局の名前が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。

テープを MD に録音

テープ→ MD

1 TAPE ● REC/❚❚ ▶ STOP

押す

必要に応じてリバースモードを選ぶ
（☞ 31ページ）

2 録音モードを選ぶ

① PROGRAM EDIT 押す
押す

② ❶選び ❷決定

押すたびに
MANUAL（通常の録音モード）
↑ ↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 SHIFT + MD ● REC/❚❚

同時に押す
録音が始まります。

REC
PLAY /

■途中で止める ➡ STOP
（“UTOC Writing”と表示して録音完了）

■一時停止する ➡ SHIFT + MD ● REC/❚❚
MD は一時停止し、テープは再生を続けます。
再開するには、再度押す。
（トラックマークが付きます）

■MDの残り時間が知りたい ➡ DIMMER FL DISPLAY 数回押す。
■トラックマーク（曲の切れ目）を付ける ➡ （録音中に）PROGRAM EDIT
好みの位置で押すと“TR-MARKING”と表示され、トラックマークが付きます。

ディスク/ラジオ/MDをテープに録音

準備
① 録音用テープを入れる。（☞ 31ページ）
② ［◀ ▶TAPE］を押してセレクターを“TAPE”にし、［■STOP］を押す。
③ リバースモードを選ぶ。（☞ 31ページ）
④ ディスクをテープに録音するときは、ディスクを入れる。（☞ 17ページ）
⑤ MDをテープに録音するときは、MDを入れる。（☞ 27ページ）

ディスクをテープに録音
ディスク→テープ

1 ALL DISC DISC 押して録音したいディスクを選ぶ

▼ 10秒以内

▼

STOP

ラジオをテープに録音
ラジオ→テープ

1 録音したい放送を受信する
（☞ 32ページ）

88.1 MHz

MDをテープに録音
MD→テープ

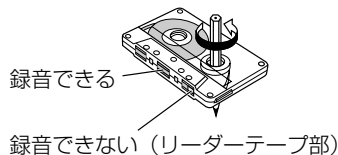
1 押す

▼

STOP

■ディスクやMDの好みの曲を予約して録音する（プログラム録音）
録音したい曲をプログラム予約します。
（☞ 21、28ページ）
録音後は予約を解除してください。

■ディスクの気に入った曲をすぐ録音する（追っかけ録音）
曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。
曲の途中から録音するときは、ディスクを一時停止しておきます。

■テープの裏面に録音する
テープを入れ、右記の操作でテープ走行方向を切り換えた後、録音してください。

確　認

録音できるテープ

ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	×
メタルポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ	×

ハイポジションテープまたはメタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

リーダーテープ部を巻き取る

2

停止中、同時に押して
"1DISC" または "ALL DISC" を選ぶ

1DISC　　：1枚のディスクを録音
ALL DISC：すべてのディスクを連続録音

"ALL DISC" は、VCD CD WMA/MP3 のみ有効です。

3

同時に押す

インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から録音します。
リバースモードは、⊂⇄⊃ を選んでいても ⇄⊃ になります。

（ディスクの再生が終わると、テープも自動停止）

2

同時に押す

録音が始まります。
リバースモードは、⊂⇄⊃ を選んでいても ⇄⊃ になります。

2

同時に押す

MDの1曲目から録音します。
リバースモードは、⊂⇄⊃ を選んでいても ⇄⊃ になります。

（予約後に）

（再生中に）

TAPE ● REC/❚❚（2回押す）

▼

STOP（すぐ止める）

■途中で止める

■一時停止する

テープは一時停止し、ディスクまたはMDは再生を続けます。
再開するには、再度押す。

録音

ディスク／ラジオ／MDをテープに録音

MD の編集 上手に使いこなすには、65ページ「MD について」をお読みください。

準 備 ① 編集する MD を入れる。
② ［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■STOP］を押す。

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD が作れます。（録音用 MD のみ）

曲を**グループ**（☞ 29ページ）にしている MD を編集すると、編集内容に応じてグループ管理情報も更新されます。

曲を消す

イレース

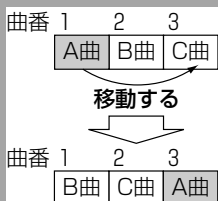
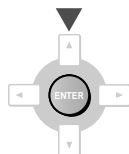
例）トラックイレース
曲番 1 2 3
A曲 B曲 C曲
消す
曲番 1 2
A曲 C曲 空き

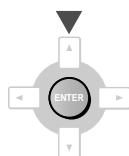
1 PROGRAM EDIT 停止中に押す

EDIT MODE

押す

曲を分ける

ディバイド

1 PROGRAM EDIT 分ける曲を再生中に押す

EDIT MODE

押す

曲をつなぐ

コンバイン

1 PROGRAM EDIT 停止中に押す

EDIT MODE

押す

曲を移動する

ムーブ

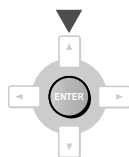
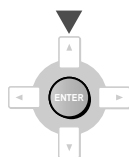
1 PROGRAM EDIT 停止中に押す

EDIT MODE

押す

■途中で解除する ➡ STOP ■

お知らせ

［▲、▼］の操作は、［⏮∨/REW、∧/FF⏭］でもできます。

2 ❶選び ❷決定

1 曲～数曲消すとき

“TRACK ERASE?” を選択

全曲消すとき

“ALL ERASE?” を選択

3

消す曲を選択

一度に 24 曲まで選択できます。
（超えると“SELECT OVER”と表示）

4

押す

● “UTOC Writing” 点滅後、編集が完了します。
●全曲を消した後は “BLANK DISC” が表示されます。

お知らせ

再生中の 1 曲を消すこともできます。

2

① **“DIVIDE?” を選び**

② **分けるおおよその位置で押す**

押した位置からの約 4 秒間が、くり返し再生されます。

3

押して位置を調節

POS + 0 0 6 ?

調整範囲 SP ：前後約 8 秒間
LP2：前後約 16 秒間
LP4：前後約 32 秒間

数値は －128 から ＋127 の範囲で表示されます。

4

押す

“UTOC Writing” 点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ増えます）

2

“COMBINE?” を選択

COMBINE?

3

つなぎたい連続した曲の組み合わせを選択

4

押す

“UTOC Writing” 点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ減ります）

お知らせ

●つなぎたい後ろの曲を再生してコンバインすることもできます。
●異なる LP モード（SP/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲はつなげません。

2

“MOVE?” を選択

MOVE?

3

① **移動する曲を選択**

② **移動先を選択**

1 → 3 ?

PRESS ENTER

4

押す

“UTOC Writing” 点滅後、編集が完了します。

お知らせ

再生中の曲を移動することもできます。

MD にタイトル入力

準 備　① タイトルを付ける MD を入れる。
② ［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■ STOP］を押す。

1 枚の録音用 MD には、最大約 1700 文字（カナ文字では約半分の文字数）まで入力できます。
次の各タイトルごとに最大 100 文字（LP2/LP4 で録音した曲名の場合は最大 97 文字）まで入力できます。
●ディスクの名前（ディスクタイトル）
●グループ名（グループタイトル）
●曲名（トラックタイトル）

録音済み MD にタイトル入力
（ディスク/トラックタイトル）

1 TITLE 停止中に押す

DISC? TITLE

イッキ録り中にタイトル入力
（グループ/トラックタイトル）

イッキ録りしながら、グループタイトル/トラックタイトルが付けられます。

1 TITLE イッキ録り中に押す

G 1 TITLE
■ <ア>

（グループタイトル入力画面）

録音中または MD 再生中にタイトル入力
（トラックタイトルのみ）

1 TITLE 録音中または再生中に押す

TR 1 TITLE
■ <ア>

（トラックタイトル入力画面）

お知らせ
●LP2/LP4 で録音したり、グループの設定をすると、入力できる文字数は減ります。たとえば、LP2/LP4 で録音した 50 曲にタイトルを入力する場合は、1 曲あたり約 25 文字（カナ文字で約 11 文字）になります。
●入力途中で録音/再生が終わった場合、入力モードは解除されます。ただし、すでに［ENTER］を押して確定したタイトルや入力途中の文字も含めたタイトルは記録されています。

■タイトル入力を途中で解除する
ただし、すでに［ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。
もう一度［TITLE］を押すと、最初からタイトル入力/修正が可能です。

2 押して“DISC? TITLE”または曲番を選ぶ

TR　2? TITLE

[⏮ V/REW、Λ/FF ⏭] でも選べます。

3 押す

■　<ア>

（タイトル入力画面）

4 ① タイトルを入力し、
（☞ 47ページ）

② 押す

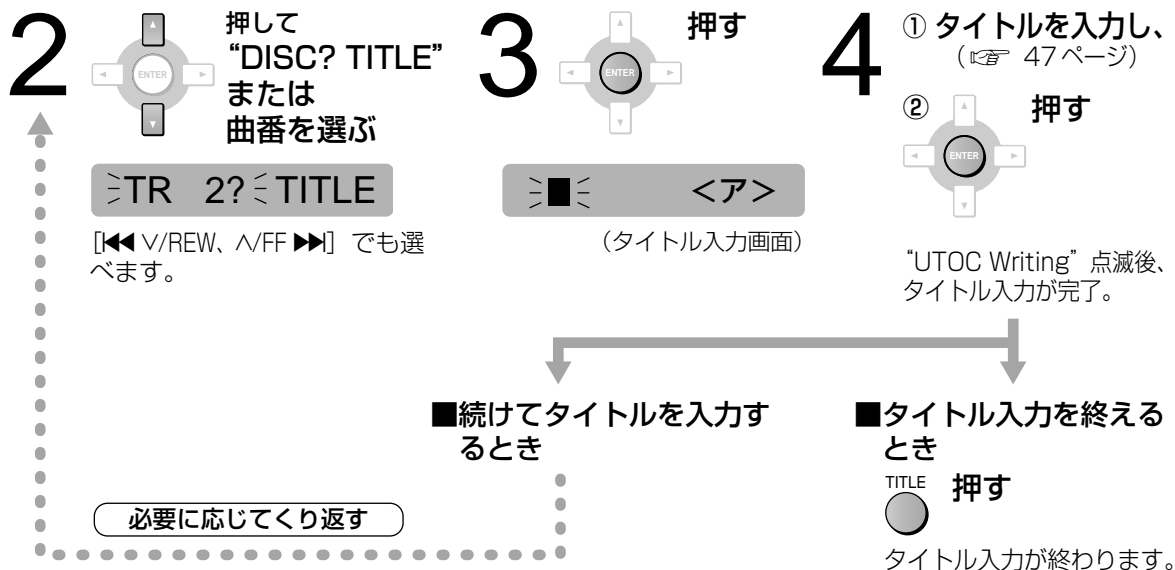
“UTOC Writing”点滅後、タイトル入力が完了。

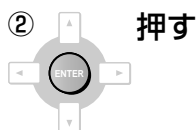
■続けてタイトルを入力するとき

必要に応じてくり返す

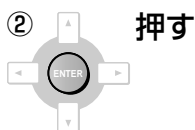
■タイトル入力を終えるとき

押す

タイトル入力が終わります。

2 ① グループタイトルを入力し、
（☞ 47ページ）

② 押す

●トラックタイトル入力画面になります。

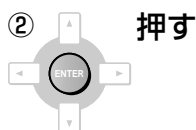
3 ① トラックタイトルを入力し、
（☞ 47ページ）

② 押す

●次のトラックタイトル入力画面になります。
●次にトラックがないときは、“TITLE Writing”と表示して完了。

お知らせ

●タイトル入力しないグループ/トラックは、[ENTER] でスキップできます。
●イッキ録りした後に、グループタイトルを付けるには ☞ **「グループタイトルを変更する」**（29ページ）

2 ① トラックタイトルを入力し、
（☞ 47ページ）

② 押す

“TITLE Writing”と表示して完了。

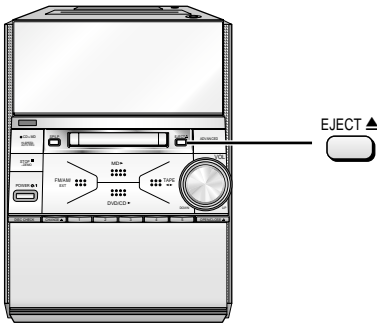
お知らせ

再生中にタイトルを付けた後、タイトル入力以外の **MDの編集**（☞ 42ページ）はできません。
[■STOP] を押して“UTOC Writing”を点滅させた後に編集してください。

お知らせ

●再生専用MD（Playback DISC）や未録音のMD（BLANK DISC）には、タイトル入力できません。
●漢字での編集はできません。

タイトルをコピー
(タイトルステーション)

準　備　[▶MD] を押してセレクターを"MD"にし、[■STOP] を押す。

MD のディスク／トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。入力の手間が省けて便利です。

1 コピー元の MD を入れる

2 停止中に押す

EDIT MODE

 押す

3 ❶選び ❷決定

"TITLE ST.?"を選択

TITLE ST. ?

4 押す

TITLE MEMORY ▼ COMPLETE ▼ EJECT MD

5 EJECT ▲ 押してコピー元 MD を取り出し コピー先 MD を入れる

Writing OK? ⇅ PRESS ENTER

6 押す

"UTOC Writing"点滅後、タイトルコピーが完了します。

■途中で解除する
[■ STOP] を押す。

お知らせ

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- タイトル入力済み MD に新たにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
- 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。電源を切ると、記憶したタイトルは消去されます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に"LP:"と表示されます。
- コピー元の MD がグループ管理されているときは、グループ管理情報もコピーされます。

文字入力のしかた

準 備 **タイトル入力画面**（☞ 29、44、45ページ）にした後、文字を入力します。

1 CHARA 押して 文字の種類を選ぶ

押すたびに

カタカナ<ア>→英大<Ａ>→英小<ａ>→数字<１>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 押して 文字を選ぶ

選んだ文字が表示されます。

⋛A⋚　　　<A>

3 押す

または

P.MEMORY ∨/REW　GROUP ∧/FF

- 選んだ文字が確定し、次の文字が選べる状態になります。
- 次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合、この操作は不要です。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	カタカナ <ア>	アルファベット 大文字 <Ａ>	アルファベット 小文字 <ａ>	数字 <１>
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー 0	ワヲンー			0

■゛゜ーを入力する ➡ ワヲン゛゜ー 0 数回押す

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

■記号を入力する ➡ SPACE !"# ≧10

押すたびに次の順序で記号が現れます。

⎵ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `

（⎵は空白を表します）

■入力済みの文字を変更する

押して変更する文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●**文字を削除するときは** ➡

●**文字を訂正するときは** ➡ 押して文字を削除し、正しい文字を入力する。

■文字や空白を挿入する

押して挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

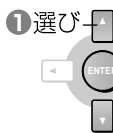
●**文字を挿入するときは** ➡ 新たに文字を入力して 押す

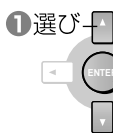
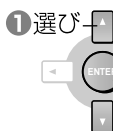
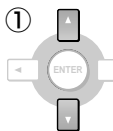
●**１文字空けるときは** ➡ ① SPACE !"# ≧10 空白を選び、② 押す

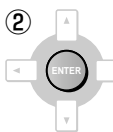
お知らせ

［◀、▶］の操作は、［⏮∨/REW、∧/FF⏭］でもできます。

時計合わせ

準 備　電源を入れる。

本機の時計は24時間表示です。
例）土曜日の16時25分（午後4時25分）に合わせる。

1
押す

2
“TIME ADJUST”を選択
3
❶選び ❷決定
“CLOCK ADJUST”を選択
4
❶選び ❷決定
曜日を選択

SUN（日曜）	THU（木曜）
MON（月曜）	FRI（金曜）
TUE（火曜）	SAT（土曜）
WED（水曜）	

5
①
押して
時刻を選び、
（押したままにすると、連続して変化します）
②
時報に合わせて
押す
時計合わせが完了し、通常の表示に戻ります。

■電源「切」時に時計を見る ➡
約5秒間、時計表示になります。

お知らせ
- 時計を合わせると、**デモ機能**（☞ 2ページ）は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したりしたときは、もう一度設定してください。
- ［▲、▼］の操作は、［|◀◀∨/REW、∧/FF▶▶|］でもできます。
- ［■STOP］を押すと、途中で解除できます。

おやすみタイマー／オートオフ

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

SHIFT ＋ SLEEP TIMER

ソース（音源）を聞きながら
同時に押して
再生時間を指定する

SLEEP
SLEEP　30

押すたびに
SLEEP 30→60→90→120→OFF
（単位：分）

■解除する ➡
（同時に数回押して“SLEEP OFF”を選ぶ）

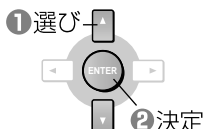
■残り時間を確かめる ➡
約５秒間表示されます。
（同時に１回押す）

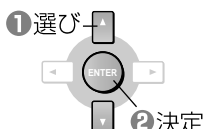
■残り時間を変える ➡
（新たに時間を指定）

お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。おやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

オートオフ

ボタン操作のない状態が１０分続くと、自動的に電源が切れます。
電源の切り忘れを防げます。

1
押す

TIME ADJUST

2
“AUTO OFF”を選択

AUTO OFF

3
“AUTO OFF - ON”を選択

AUTO OFF-ON

“A.OFF”が表示されます。

■解除する

手順２まで進んだ後、“AUTO OFF - OFF”を選択する。

お知らせ

- セレクターがDVD/CD、MD、TAPEで、停止時のみ電源が切れます。
- おやすみタイマーが１０分以上残っていても、オートオフを働かせているときは、オートオフが優先します。
- 電源を「切」にしても、オートオフは解除されません。
- ［▲、▼］の操作は、［|◀◀∨/REW、∧/FF▶▶|］でもできます。

おめざめタイマー

準備 電源を入れ、時計が合っていることを確認する。（☞ 48ページ）

設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定したソース（音源）を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

日時設定をしておけば、あとは**実行設定**を変えるだけで使えます。

例）月曜日の6時30分から7時40分まで、好みのソースを再生する。

タイマー日時設定

（24時間表示）

1 SLEEP TIMER **押す**

4 ❶選び ❷決定

10秒以内

曜日を選択
（☞ 左下の表）

6 ① **ソース**（音源）**を再生**

DVD/CD ●HI SPEED CD▶MD　MD ●REC/❚❚
TAPE ●REC/❚❚　 FM/AM/EXT

タイマー実行設定

8 ❶選び ❷決定

"TIMER SET" を選択

TIMER SET

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN	（日曜）
MON	（月曜）
TUE	（火曜）
WED	（水曜）
THU	（木曜）
FRI	（金曜）
SAT	（土曜）
SUN to SAT	（毎日）
MON to SAT	（月曜～土曜）
MON to FRI	（月曜～金曜）
SAT , SUN	（土曜と日曜）

■解除する
電源を入れ、手順7から始め、手順9で"TIMER OFF"を選択する。

■操作をまちがえたり、設定を変えたりするには
電源を入れ、手順7から始め、手順9で"TIMER OFF"を選択した後、設定をやり直す。

■設定内容を確認する ➡ （電源「切」時に）
SLEEP TIMER
■タイマー設定した後に、再生を楽しむ
① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量やソース（音源）を変更しても、設定内容には影響しません。

2

"TIME ADJUST"を選択

TIME ADJUST

3

❶選び
❷決定

"◷PLAY ADJUST"を選択

◷PLAY ADJUST

5

開始時刻を選択

6：30→0：00

6：30→6：30

終了時刻を選択

6：30→7：40

元の表示に戻る

② **音量を調節**

③ **ディスク/MD/テープは再生を停止**

7

SLEEP TIMER

押す

TIME ADJUST

9

"◷ PLAY" を選択

押すたびに
◷ **PLAY** ⇄ ◷ REC MD※
↓↑　　　↑↓
TIMER OFF ⇆ ◷ REC TAPE※
（※FM/AM選択時のみ表示）

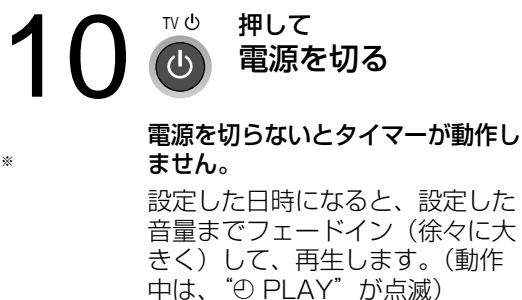
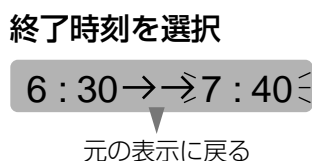
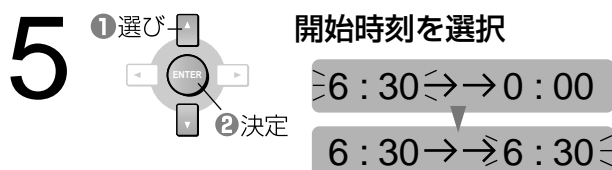
◷PLAY

"◷ PLAY" が表示されます。

10

押して電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した日時になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。（動作中は、"◷ PLAY" が点滅）

■外部機器を使ったタイマー設定 ➡

手順**6**で "AUX1" または "AUX2" を選んだ後、外部機器を本機と同日時に動作するように設定します。

■好みの曲を再生する MD

手順**6**でプログラム予約します。（☞ 28 ページ）

■順不同に再生する

CD WMA/MP3 MD

手順**6**でランダム設定します。（☞ 21、28 ページ）

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- 解除しない限り、タイマーは同じ設定で動作します。
- [▲、▼] の操作は、[|◀◀∨/REW、∧/FF▶▶|] でもできます。

留守録タイマー

準備 ① 電源を入れ、時計が合っていることを確認する。（☞ 48ページ）
② 録音用MDまたは録音用テープを入れる。

設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定した放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

例）土曜日の18時30分から20時まで、好みの放送をMDに録音する。

タイマー日時設定
（24時間表示）

1 押す

4

10秒以内
曜日を選択
（☞ 左下の表）

6 ① **選局する**

タイマー実行設定

8

"TIMER SET"を選択

TIMER SET

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN	（日曜）
MON	（月曜）
TUE	（火曜）
WED	（水曜）
THU	（木曜）
FRI	（金曜）
SAT	（土曜）
SUN to SAT	（毎日）

■解除する
電源を入れ、手順7から始め、手順9で"TIMER OFF"を選択する。

■操作をまちがえたり、設定を変えたりするには
電源を入れ、手順7から始め、手順9で"TIMER OFF"を選択した後、設定をやり直す。

■設定内容を確認する ➡ （電源「切」時に）

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」（☞ 61 ページ）

2

“TIME ADJUST”を選択

TIME ADJUST

3

❶選び
❷決定

“◴REC ADJUST”を選択

◴REC ADJUST

5

開始時刻を選択

18: 30→→0 : 00

18: 30→→18: 30

終了時刻を選択

元の表示に戻る

② MD 録音時に設定

●LP モード（☞ 37 ページ）
●録音レベル（☞ 37 ページ）
●録音モード（☞ 39 ページ）

7

押す

TIME ADJUST

9

“◴ REC MD” または “◴ REC TAPE” を選択

押すたびに

◴ PLAY ⇄ ◴ **REC MD**
↓↑ ↑↓
TIMER OFF ⇆ ◴ **REC TAPE**

例）MDに録音

◴REC MD

“◴ REC” が表示されます。

10

押して電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

●頭切れ防止のため、設定した日時の 30 秒前になると、タイマー録音が始まります。（動作中は、“◴ REC” が点滅）
●録音時、音量は自動的に最小になります。

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量やソース（音源）を変更しても、設定内容には影響しません。

■外部機器を使ったタイマー設定 ➡

手順**6**で “AUX1” または “AUX2” を選んだ後、外部機器を本機と同日時に動作するように設定します。

お知らせ

● 留守録タイマーとおめざめタイマーは同時に使えません。
● 解除しない限り、タイマーは同じ設定で動作します。
● ディスク（DVD/CD）、MD、テープの留守録タイマーはできません。
● [▲、▼] の操作は、[⏮∨/REW、∧/FF⏭] でもできます。

音質/音場/画質などの便利機能

ADVANCED SURROUND

臨場感のある音で聞く

アドバンスド・サラウンド

押して効果を選ぶ

（リモコンで）

M.RE-MASTER SURROUND

ADV SURR 2

（本体で）

ADVANCED SURROUND

押すたびに
ADV SURR 1: 音に広がりを与えます。
ADV SURR 2: 臨場感を与え、音に広がりと奥行きを与えます。
SURR OFF（切）

録音するとき、雑音が多いとき、音が歪むときは、「切」にしてください。

（お知らせ）

●ソース（音源）によっては効果の出にくいものがあります。
●ヘッドホンでは効果がうすくなります。
●マルチ リ.マスターと同時に使うと、効果の出ないDVDビデオがあります。必要に応じてマルチ リ.マスターを「切」にしてください。

より高音質で聞く

オーディオ・オンリー

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

映像信号の出力を「切」にすることで、より高音質で楽しめます。

SHIFT ＋ A.ONLY SOUND

同時に押す

A.ONLY

■解除する
同時に押して“A.ONLY”を消す。

（お知らせ）

オーディオ・オンリーが「入」のときは映像が出ません。

より自然な音で聞く

マルチ リ.マスター

DVD-V RAM
（48 kHzで記録されたディスク）

DVD-A
（44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク）

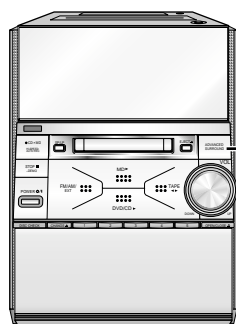
VCD CD
ディスクに記録されていない高い周波数信号を付加することで、より自然で豊かな音質を楽しめます。

WMA/MP3
（8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスク）

MD
（44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたMD）

圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

SHIFT ＋ M.RE-MASTER SURROUND

同時に押して効果を選ぶ

RE-MASTER
M.RMTR 1

押すたびに設定が切り換わります。

設定	DVD-V DVD-A CD (LPCM/PPCM) 音源に適した設定を選択	その他のディスクと MD 効果の強弱を選択
1	テンポの早い曲（ポップス、ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強
OFF	切	切

好みの音質効果を使う

イコライザー

4種類の音質に切り換えたり、Bass（低域）とTreble（高域）を細かく調整したりできます。

プリセットされた音質を使う

A.ONLY SOUND

押して効果を選ぶ

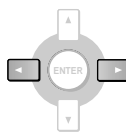
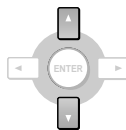
EQ → Clear

押すたびに

Heavy： ロックなど。パンチを効かせるとき
Clear： ジャズなど。高音部を鮮明にするとき
Soft： BGMとして聞くとき
Vocal： ボーカルにつやを出したいとき
OFF： 切

お買い上げ時の設定は“Heavy”です。

お知らせ

プリセットされた音質の使用時や、低域/高域を調整（☞ 右記）したときは、表示部に“EQ”と表示されます。
“EQ”が消えているときは、フラットな音質です。

低域/高域を調整する

1 A.ONLY SOUND **“M-EQ”と表示するまで押したままにする**

2

押して低域（B）または高域（T）を選ぶ

B： 0 T： 0

押してレベルを調整する

B： 0 T： +1

●上下4ステップずつ調整できます。
●ボタン操作がない状態で10秒たつと、調整画面は消えます。

一時的に消音する

ミューティング

TV/VIDEO MUTING **押す**

MUTING

■解除する
● もう一度押す。
● 音量を最小“0”にしてから上げる。
● 電源を切／入する。

表示部の明るさを抑える

ディマー

SHIFT ＋ DIMMER FL DISPLAY **同時に押す**

表示部の輝度が下がります。暗くした部屋での映画鑑賞などにお使いください。

■解除する
● もう一度、同時に押す。
● 電源を切／入する。

映画のセリフを聞き取りやすくする

シネマボイス

DVD-V
（センターチャンネルにセリフが記録されたディスク）

再生中に、GUIメニューで（☞ 58ページ）“その他の設定”→“音声メニュー”を選び
シネマボイスを“入”にする

ディスクによって効果のないものや効果の薄いものがあります。

■解除する
GUIメニューで“切”にする。

映画向けの画質にする

ピクチャーモード

DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG

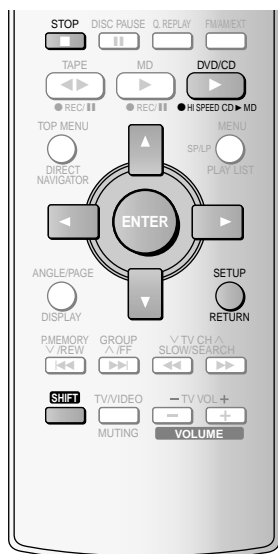
再生中に、GUIメニューで（☞ 58ページ）“その他の設定”→“画質メニュー”を選び
ピクチャーモードで画質を選択

“ユーザー”を選択し、詳細画質設定で、より細かな画質の設定も行えます。

シネマ1： 映画館で見ているようなしっとり感、暗い場面は細部をはっきり
シネマ2： 昔の映画などをくっきり、暗い場面は細部をはっきり
アニメ： アニメの色をくっきり
ダイナミック： 色にめりはりをつける
ノーマル： 切

初期設定一覧

日本語 のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

準 備 [▶DVD/CD] を押してセレクターを"DVD/CD"にし、[■STOP] を押す。

初期設定画面

■ 1 つ前の画面に戻る/設定を終了する ➡ SETUP RETURN

ディスク

■ **音声言語**
- **日本語**
- 英語
- オリジナル※1
- その他＊＊＊＊※2

■ **字幕言語**
- **オート**※3
- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ **メニュー言語**

メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。
- **日本語**
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ **視聴制限**

お子さまなどに見せたくない DVD の視聴を制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
- **レベル８**：すべてのディスクが再生可
- レベル７～１：制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- レベル０：すべてのディスクが再生不可

レベル０～７を選ぶ（または選んだあと再び"視聴制限"を選ぶ）と、暗証番号の入力画面が表示されます。

暗証番号の入力方法

1 **数字ボタン**で４ケタの数字を入力する
2 **[ENTER]** を押す
3 暗証番号を確認し、**[ENTER]** を押す
暗証番号を忘れないでください。

- 視聴制限を超える DVD を入れると、画面上に表示がでます。そのときは画面の指示に従ってください。

※1 "オリジナル": ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 "その他＊＊＊＊": 数字ボタンで言語番号（☞ 右ページ）を入力します。
※3 "オート": "音声言語"で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

映　像

■ **TV アスペクト**（☞ 右ページ）
- **4:3 パン&スキャン**
- 4:3 レターボックス
- 16:9

■ **プログレッシブ出力**
- **不可**：プログレッシブ非対応テレビ
- 可能：プログレッシブ対応テレビ

■ **接続する TV**
- **標準（ブラウン管テレビ）**
- 3 管式プロジェクター
- 液晶テレビ/プロジェクター
- プロジェクションテレビ
- プラズマテレビ

■ **TV ディレイ**

プラズマ TV などのデジタル TV 使用時に、本機の映像出力のタイミングを早めることで、映像と音声を同期させることができます。
- **0 ms** ～●100 ms（20 ms 刻み）

お知らせ

テレビによっては、効果のないことがあります。

■ **スチルモード**

一時停止時の画像表示方法が選べます。
- **オート**
- フィールド
- フレーム

音　声

■ **PCM デジタル出力**
- **最高 48 kHz**　●最高 96 kHz
- 最高 192 kHz

■ **Dolby Digital**
- **Bitstream**　● PCM

■ **DTS Digital Surround**
- **PCM**　● Bitstream

■ **音声のダイナミックレンジ圧縮**
（ドルビーデジタルのみ）
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
- **切**　● 入

■ **早送り時の音声**
- **入**　● 切

画面表示

■ **画面メニュー言語**
- **日本語**　● English（英語）

■ **画面メッセージ**
- **入**　● 切

その他

■ **HighMAT 再生**
- **入**：HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクとして再生
- 切：WMA/MP3/JPEG ディスクとして再生

■ **クイックセットアップ**
本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行います。
- **する**　● しない

■ **設定の初期化**
初期設定、DVD/CD 関連のユーザー設定を、すべてお買い上げ時の状態に戻します。
- する　● **しない**

初期化するときは、次のように操作します。
① 「する」を選び、［ENTER］を押す。
② テレビ画面に“オールクリア”が表示されたら、［ENTER］を押す。
③ 本機の電源を入れ直す。

お知らせ
- 初期化した後は、必ず電源を入れ直してください。入れ直さないと、正しく初期化されません。
- 視聴制限を設定しているときは、操作の途中で暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力してください。

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	タタール	8484
アイマラ	6588	タミル	8465
アイルランド	7165	タガログ	8476
アゼルバイジャン	6590	タジク	8471
アッサム	6583	チェコ	6783
アファル	6565	中国語	9072
アフリカーンス	6570	チベット	6679
アブハジア	6566	ティグリニア	8473
アムハラ	6577	テルグ	8469
アラビア	6582	デンマーク	6865
アルバニア	8381	トウイ	8487
アルメニア	7289	トルクメン	8475
イタリア	7384	トルコ	8482
イディッシュ	7473	トンガ	8479
インターリングア	7365	ドイツ	6869
インドネシア	7378	ナウル	7865
ウェールズ	6789	日本語	7465
ウォロフ	8779	ネパール	7869
ヴォラピュック	8679	ノルウェー	7879
ウクライナ	8575	ハウサ	7265
ウズベク	8590	ハンガリー	7285
ウルドゥー	8582	バシキール	6665
英語	6978	バスク	6985
エストニア	6984	パシュト	8083
エスペラント	6979	パンジャブ	8065
オーリヤ	7982	ヒンディー	7273
オランダ	7876	ビハール	6672
カザフ	7575	ビルマ	7789
カシミール	7583	フィジー	7074
カタロニア	6765	フィンランド	7073
ガリチア	7176	フェロー	7079
韓国（朝鮮）語	7579	フランス	7082
カンナダ	7578	フリジア	7089
カンボジア	7577	ブータン	6890
キルギス	7589	ブルガリア	6671
ギリシャ	6976	ブルターニュ	6682
クルド	7585	ヘブライ	7387
クロアチア	7282	ベトナム	8673
グアラニー	7178	ベロルシア（白ロシア）	6669
グジャラト	7185	ベンガル（バングラ）	6678
グリーンランド	7576	ペルシャ	7065
グルジア	7565	ポーランド	8076
ケチュア	8185	ポルトガル	8084
ゲール（スコットランド）	7168	マオリ	7773
コーサ	8872	マケドニア	7775
コルシカ	6779	マライ（マレー）	7783
サモア	8377	マラッタ	7782
サンスクリット	8365	マラヤーラム	7776
ショナ	8378	マルタ	7784
シンド	8368	マダガスカル	7771
シンハラ	8373	モルダビア	7779
ジャワ	7487	モンゴル	7778
スウェーデン	8386	ヨルバ	8979
スロバキア	8375	ラオ	7679
スロベニア	8376	ラテン	7665
スワヒリ	8387	ラトビア（レット）	7686
スンダ	8385	リトアニア	7684
スペイン	6983	リンガラ	7678
ズールー	9085	ルーマニア	8279
セルビア	8382	レトロマンス	8277
セルボクロアチア	8372	ロシア	8285
ソマリ	8379		
タイ	8472		

パン&スキャンとレターボックスとは

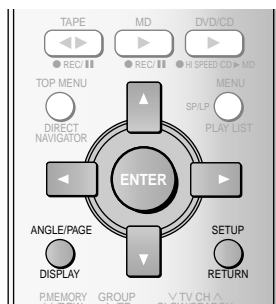
DVD ソフトのワイドな映像（16:9）を、標準サイズ（4:3）のテレビで見る場合、2 つの表示方法があります。

4:3 パン&スキャン
左右をカットし、テレビ画面全体に映像を映し出します。

4:3 レターボックス
上下に黒い帯を入れ、16:9 の映像を忠実に再現します。

GUI メニュー項目一覧

ジー・ユー・アイ（グラフィカル ユーザー インターフェース）
G U I（Graphical User Interface）とは「テレビ画面を見ながらディスクの操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI メニュー」と呼びます。

お願い **録音中は操作しないでください。録音が途切れる原因になります。**

DVD-V GUI メニューの一例

1 再生中に押して GUI メニューを表示させる

押すたびに
→ GUIメニュー
↓
プログレスインジケーター
（☞ 61ページ）
↓
元の画面

2 変更したい項目を選択

同じ操作をくり返し、変更したい項目まで階層メニューを進みます。

3 好みの設定を選択

数字ボタン→［ENTER］で設定できるものもあります。

■ GUI メニューを消す ➡ SETUP RETURN

名　称	項目と設定		
DVD ビデオ	**タイトル**	**タイトルサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[ENTER]
	チャプター	**チャプターサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[ENTER]
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ	±30秒、60秒、90秒、2分…
		タイムサーチ：時間指定再生	例）1時間24分50秒から再生 [1]→[2]→[4]→[5]→[0]→[ENTER]
		タイトル経過時間 **タイトル残時間**	
	音声（☞ 24ページ）	**1～最大8**	カラオケ入/切：[▲、▼]→[ENTER]
	字幕（☞ 24ページ）	**入**または**切** **1～最大32**	
	アングル（☞ 19ページ）		
	その他の設定（☞ 60ページ）		
DVD オーディオ	**グループ**	**グループサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[ENTER]
	トラック	**トラックサーチ**	[▲、▼]（または数字ボタン）→[ENTER]
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ	±30秒、60秒、90秒、2分…
		タイムサーチ：時間指定再生	例）4分50秒から再生 [4]→[5]→[0]→[ENTER]
		トラック経過時間 **トラック残時間** **グループ残時間**	
	音声（☞ 24ページ）	**1**または**2**	
	静止画	**次静止画** **前静止画** **リターン**	
	その他の設定（☞ 60ページ）		

●ディスクによっては、表示されない項目/設定があります。

名称	項目と設定		
DVD-RAM	**プログラム** プレイリスト※1	**プログラムサーチ** プレイリストサーチ※1	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]** ※1 プレイリスト再生時に表示
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ **タイムサーチ**：時間指定再生	**±30秒、60秒、90秒、2分…** 例）24分30秒から再生 **[2]→[4]→[3]→[0]→[ENTER]**
		プログラム経過時間 プレイリスト/シーン経過時間※2 **プログラム残時間** プレイリスト/シーン残時間※2	 ※2 プレイリスト/シーン再生時に表示 ※2 プレイリスト/シーン再生時に表示
	音声（☞ 24ページ）	**LR、L、R** **1** または **2**	
	字幕（☞ 24ページ）	**入**または**切**	
	マーカー（VR）：マーカースキップ		
	その他の設定（☞ 60ページ）		
ビデオCD	**トラック**	**トラックサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	時間	**トラック経過時間** **トラック残時間**（SVCD以外） **ディスク残時間**（SVCD以外）	
	音声（☞ 24ページ）	**LR、L、R** **1** または **2**（SVCDのみ）	
	字幕（☞ 24ページ） （SVCDのみ）	**入**または**切** 字幕言語選択（1～4）	
	その他の設定（☞ 60ページ）		
CD	**トラック**	**トラックサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	時間	**トラック経過時間** **トラック残時間** **ディスク残時間**	
	その他の設定（☞ 60ページ）		
WMA/MP3	**グループ**	**グループサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	時間		
	音声		
	その他の設定（☞ 60ページ）		
JPEG（CD-R/RW）	**グループ**	**グループサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	サムネイル：サムネイル一覧表示		
	画像回転	**右90°回転**または**左90°回転**	
	スライドショー	**間隔** **入**または**切**	**0～30秒**
	その他の設定（☞ 60ページ）		
HighMAT	**プレイリスト**	**プレイリストサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	グループ	**グループサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[ENTER]**
	時間		
	音声		
	画像回転（静止画のみ）	**右90°回転**または**左90°回転**	
	その他の設定（☞ 60ページ）		

「その他の設定」項目一覧（ディスク共通）

再生速度（➡右ページ）

×0.6、×0.7、×0.8、×0.9、ノーマル、×1.1、×1.2、×1.3、×1.4

再生メニュー

- **リピート**（☞ 25ページ）
- **A-B リピート**（☞ 25ページ）
- **マーカー**（☞ 25ページ）

画質メニュー

ピクチャーモード（☞ 55ページ）

- **ノーマル**： 切
- **シネマ 1**： 映画館で見ているようなしっとり感
- **シネマ 2**： 昔の映画などをくっきり
- **アニメ**： アニメの色をくっきり
- **ダイナミック**： 色にめりはりをつける
- **ユーザー**

詳細画質設定

項目	内容	範囲
－コントラスト：	白黒の強弱	−7～+7
－ブライトネス：	画面全体の明るさ	0～+15
－シャープネス：	水平方向の鮮鋭度・解像感	−7～+7
－カラー：	色の濃さ	−7～+7
－ガンマ：	暗い部分の明るさ	0～+5
－デプスエンハンサー：	映像の奥行き感	0～+4

ビデオ出力モード（初期設定「プログレッシブ出力」が“可能”のときのみ）

- **525I**： インターレース映像
- **525P**： プログレッシブ映像（“PROG.”点灯）

変換モード［表示部の“PROG.”点灯中のみ］

プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける。

- **オート 1**（標準）：映画再生
- **オート 2**：オート 1 の変換方式に加え、30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応
- **ビデオ**：ビデオ素材

音声メニュー

- **アドバンスドサラウンド**（☞ 54ページ）
- **シネマボイス**（☞ 55ページ）
- **マルチ リ.マスター**（☞ 54ページ）

表示メニュー

項目	設定
字幕位置（DVD-V DVD-A（動画部のみ））	0～−60
字幕明るさ（DVD-V DVD-A（動画部のみ））	オート、0～−7
情報表示（WMA/MP3 CD テキスト）	**入**または**切**
（JPEG）	**切、日付、詳細**

4:3 アスペクト（DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG）

4:3 の映像を、ワイドサイズ（16:9）の TV で見るときの表示方法を選ぶ。

- **ノーマル**： 画面幅いっぱいに引き延ばす
- **オート**： 通常はシュリンクに、レターボックスの映像はズームに自動で切り換える
- **シュリンク**： 画面中央に 4:3 の画面比のまま映す
- **ズーム**： 画面比 4:3 で拡大する

ぴったりズーム（☞ 24ページ）

任意ズーム　× 1.00～× 2.00（0.01 刻み）

ビットレート表示（DVD-V DVD-A（動画部のみ）RAM VCD）**入**または**切**

映像の種類（I/P/B ☞ 69ページ）とビットレートの目安を表示する。

ビットレート
現在値 10.621 Mbps
平均値 6.622 Mbps
5.0 Mbps

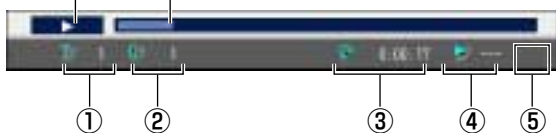
サンプリング期間中のビットレート履歴

一時停止時：
映像の種類とフレームのデータ量
動画再生時：
再生画像の平均ビットレート

GUI シースルー：半透明化　**入**または**切**

GUI 明るさ　−3～+3

その他のメニュー
（停止時のみ有効）

- **DVD-Video として再生**： DVD オーディオを DVD ビデオとして再生
- **DVD-Audio として再生**： 「DVD-Video として再生」を解除
- **DVD-VR として再生**（RAM）：「データディスクとして再生」を解除
- **HighMAT として再生**： 「データディスクとして再生」を解除
- **データディスクとして再生**： DVD-RAM または HighMAT をデータディスクとして再生

操作メニュー一覧

プログレスインジケーター

現在どの部分を再生しているかを表します。再生中、表示部に経過時間が表示されないときは働きません。

例）DVDビデオ再生時

再生状態　現在の再生位置

① T（タイトル） DVD-V
P（プログラムまたはプレイリスト） RAM
G（グループ） DVD-A WMA/MP3 JPEG

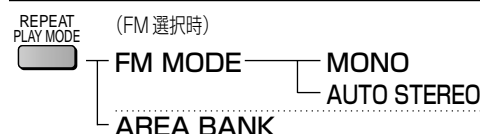
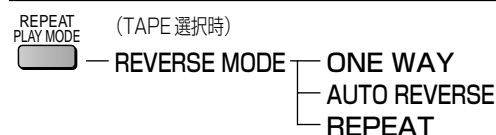
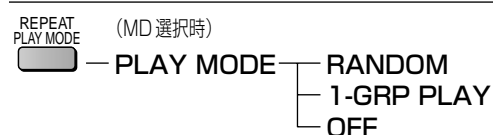
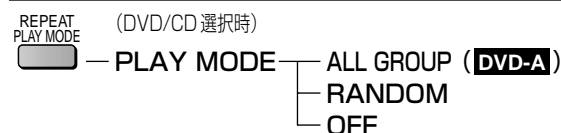
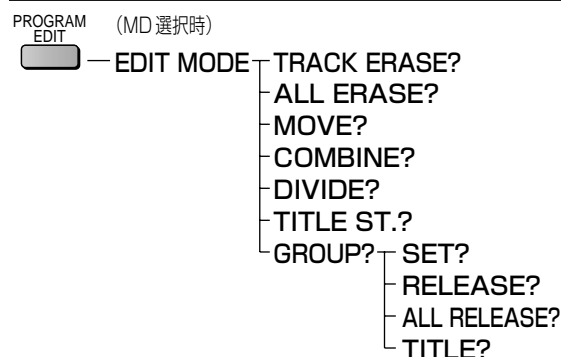
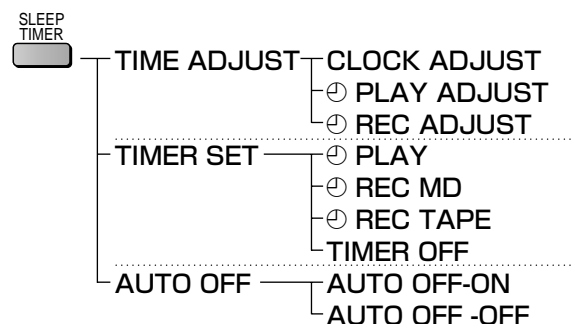
② C（チャプター） DVD-V
T（トラック） DVD-A VCD CD
C（コンテンツ） WMA/MP3 JPEG

③ 番組/プレイリスト/タイトル/トラック
経過時間←→残り時間［▲、▼］で切り換える
（VCD（SVCDのみ） WMA/MP3 は経過時間のみ）

④ **再生モード** DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3
- - - :　通常
PGM : プログラム
RND : ランダム
ALL : オールグループ DVD-A
CD :　ALL DISCモード

⑤ **再生コンテンツメニューの状態表示** WMA/MP3 JPEG
表示なし：オール
：音声
：静止画

再生速度を微調整する

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM

セリフなどを聞きながら速く再生したり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときなどに使います。

再生中にGUIメニューで（☞58ページ）"その他の設定"を選び

再生速度を選択

（☞左ページ）

お知らせ

- ［▶ DVD/CD］を押すと、通常再生に戻ります。
- ディスクによっては働かない箇所があります。
- 速度変換モード中は
  - デジタル出力が"PCM"（44.1kHzまたは48kHz）に切り換わります。
  - アドバンスド・サラウンド、マルチ リ.マスターは働きません。

- ［TIMER］ボタン、［EDIT］ボタン、［PLAY MODE］ボタンを押した後の操作メニューは、以下のような階層になっています。（主なもののみ記載）
- 選択操作で迷ったときの参考にしてください。

別売り機器から録音/再生

別売り機器の接続 ☞ 64ページ

準 備

ポータブルMDから本機のMDに録音するとき

① ポータブルMDに録音元のMDを入れる。
② 本機に録音用MDを入れ、LPモードを選ぶ。
（☞ 37ページ）

準 備

他の別売り機器から録音するとき

① テレビ、有線、BS/CSを録音するときは、放送を受信する。
② 録音用MDまたは録音用テープを入れる。
MD録音時はLPモード（☞ 37ページ）を、テープ録音時はリバースモード（☞ 31ページ）を選ぶ。

MDネットワーク対応のポータブルMDから録音

本機からポータブルMDをコントロールして録音とタイトルコピーができます。

1 FM/AM/EXT 押して“P-MD”を選ぶ

押すたびに
FM→AM→AUX1
↑　　　　　↓
P-MD ← AUX2

P-MD
(12 Track)
ポータブルMD側の総曲数

ポータブルMDは自動的に適切な音量・フラットな音質になります。

MDネットワークに対応していないポータブルMDから録音

1 FM/AM/EXT 押して“AUX2”を選ぶ

●接続した機器の入力レベルが低い場合は調整してください。
（☞ 右ページ下）

他の別売り機器から録音/再生

1 FM/AM/EXT 押して“AUX1”または“AUX2”を選ぶ

●聞くだけのときは、このあと別売り機器を再生します。
●“AUX2”選択時に接続した機器の入力レベルが低い場合は調整してください。
（☞ 右ページ下）

■ビジュアル/タイトルプリンターを使う

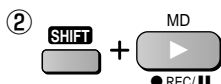
対応品：SH-CP30（別売り）
MDに付けたタイトルのデータを利用してMDのラベルが印刷できます。
① AUX2/P-MD端子に接続する。
② ［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■STOP］を押す。
くわしくは、ビジュアル/タイトルプリンターの説明書をご覧ください。

お知らせ

ソース（音源）や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

■MDの録音モードについて

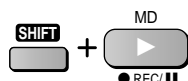
MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。

TIME MARK（タイム マーク）：
5分おきにトラックマークが自動的に付きます。

SYNCHRO（シンクロ）：
接続した機器で再生が始まると、自動的に録音を開始します。無音状態が約3秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。

2

1曲ずつ録音するとき

① P.MEMORY ∨/REW GROUP ∧/FF

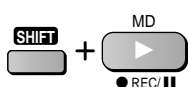
②

押して
録音する曲を選ぶ
選んだ曲が確認の意味で再生されます。

同時に押す
曲の最初から録音し、1曲録音すると自動停止します。必要に応じて手順①、②をくり返してください。

全曲録音するとき

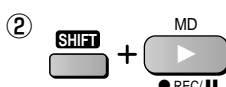
同時に押す
録音が始まります。

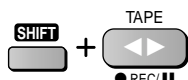
■MDネットワーク機能について

MD NETWORK カタログにこのマークがついている製品です。

- この機能は、ポータブルMDとDVD/MDステレオシステムの組み合わせで働きます。
- 録音が終了して約4分たつと、ポータブルMDは節電のため自動的に電源が切れます（“P-MD”が点滅）。再び通信を確立するには、［FM/AM/EXT］で“P-MD”を選ぶ。
- 録音を終えたら、電池の消耗を防ぐためMDネットワークコードは抜いてください。
- SP/LP2/LP4の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。
- 次の場合は、ポータブルMD側のディスクタイトルがコピーされません。
  ー1曲ずつ録音したとき
  ー本機側のMDにディスクタイトルやグループ管理情報が入っているとき
- タイマーと組み合わせて使うことはできません。

2 **録音モードを選択**
（☞ 左ページ下）
① ［EDIT］を押し、［ENTER］を押す。
② ［▲、▼］で“MANUAL”、“TIME MARK”または“SYNCHRO”を選び、［ENTER］を押す。

3

同時に押す
- **MANUAL、TIME MARKでは**
  録音が始まります。
- **SYNCHROでは**
  録音待機状態になります。

4 **ポータブルMDで再生を始める**
SYNCHROでは、音の出始めから録音が始まります。

2

MDに録音するとき

① **録音モードを選択**
（☞ 上段の手順2-①、②）

②

同時に押す
- **MANUAL、TIME MARKでは**
  録音が始まります。
- **SYNCHROでは**
  録音待機状態になります。

テープに録音するとき

同時に押す
録音が始まります。

3 **別売り機器で再生を始める**
MD録音時、SYNCHROでは、音の出始めから録音が始まります。

●トラックマーク（曲の切れ目）の付けかた
AUX1またはAUX2選択時、録音中に好みの位置で［EDIT］を押すと、“TR-MARKING”が表示され、その位置にトラックマークが付きます。

お知らせ
ソース（音源）によっては、“SYNCHRO”を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は“MANUAL”で録音してください。

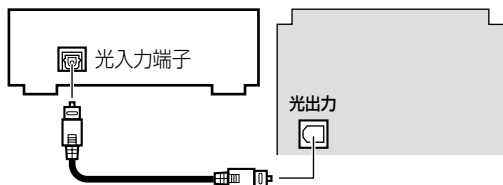
■入力レベルを調整する

① ［PLAY MODE］を押し、［ENTER］を押す。
② ［▲、▼］で“HIGH”または“NORMAL”を選び、［ENTER］を押す。
HIGH（ハイ）：音量が小さい場合
NORMAL（ノーマル）：通常の場合

別売り機器の接続

別売り品の品番は、2004年1月現在のものです。品番は変更されることがあります。

ポータブルMD

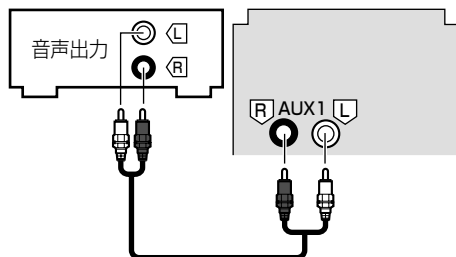
MDネットワーク対応
MDネットワークコード
(別売り※：
RP-CAM9G15、1.5 m
RP-CAMC9G15、1.5 m)

MDネットワーク非対応
ミニ・ミニラインコード
(別売り：
RP-CAM3G15、1.5 m)

お知らせ

※ 使用できるコードを、お手持ちのポータブルMDの説明書でご確認ください。

AVアンプ

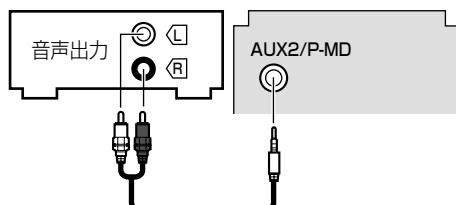
5.1チャンネル出力を持つAVアンプと接続すると、**DVDビデオ**をマルチチャンネルで楽しめます。
(**DVDオーディオ**の場合は2チャンネルになります)

光デジタルケーブル(別売り：RP-CA2010A、1 m)

本機の光出力端子について

● DVD/CD以外の音声は出力されません。
● 初期設定が"PCM"のとき：音場効果が働くものもあります。
初期設定が"Bitstream"のとき：音質/音場効果は働きません。

アナログプレーヤー、有線、BS/CSチューナーなど

テレビと接続して、テレビの音声を本機のスピーカーで楽しむこともできます。

■ AUX1端子に接続するときは

ステレオピンコード(別売り：RP-CAP3G10、1 m)

アナログプレーヤーと接続するときは

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
推奨品：当社製アナログプレーヤー SL-J8(フォノイコライザー内蔵)
お手持ちのプレーヤーにフォノイコライザーがないときは、フォノイコライザー(サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT)が必要です。そのままつなぐと音が小さくなります。

■ AUX2/P-MD端子に接続するときは

オーディオコード(別売り：RP-CAPM3G15、1.5 m)

DVDをより高画質で楽しむために

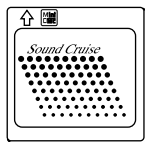
D端子と接続

● D3、D4と表示されていても接続できます。
● D1のときは、プログレッシブ映像を楽しめません。
(インターレース映像のみの出力になります)

コンポーネント端子と接続

ハイビジョンテレビに接続するときは、DVDに対応した端子に接続してください。ハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

プログレッシブ対応テレビで、プログレッシブ映像を楽しむには

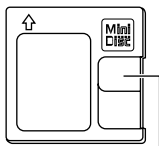
①「プログレッシブ出力」を"**可能**"にする。(☞ 15、56ページ)
② GUIメニューで(☞ 58ページ)"その他の設定"→"画質メニュー"を選び「ビデオ出力モード」を"**525P**"にする。

MDについて

MDの種類

■ 再生専用MD

録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。
この方式のMDを「光ディスク」といいます。

■ 録音用MD

磁気によってデータを記録します。
この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

MDの録音・編集について

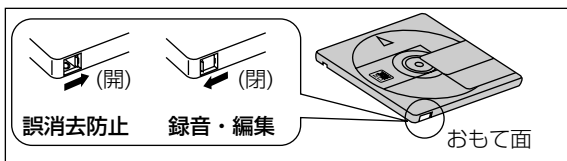
■ テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■ MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■ 大切な録音を消さないために

MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別の MDへはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー”の禁止）

■ 録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

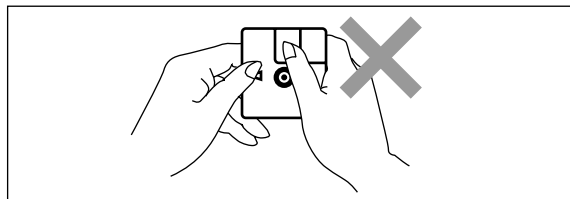
よく出てくるMD用語

■ トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。
トラックマークを入れることで、1枚のMDに最大254曲まで記録することができます。

■ TOC（トック）（Table of Contents）

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

■ UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

利用者が自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MDにUTOC情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing”と表示され注意を促します。

■ MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のあるMDは、故障の原因になりますので機器に入れないでください）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください）

MDの制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	

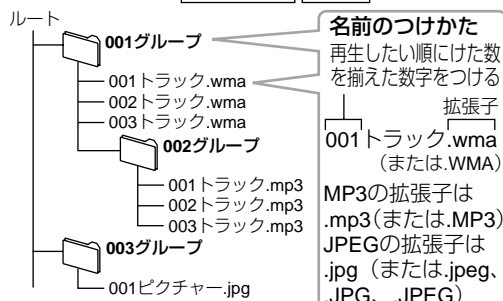
ディスク(DVD/CD)について

WMA/MP3/JPEG/CDテキスト

本機での制限

- 使用できるフォーマット:ISO9660 level 1及びlevel 2(拡張フォーマットを除く)
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 8階層より深い階層にあるグループは、8階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は"_(アンダーバー)"で表示されます。
- メニュー画面での表示順は、パソコンでの表示順と異なることがあります。
- ディスクの作りかたによっては、順番通りに再生できないことがあります。

WMA

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 情報部にJPEGなど大きなデータが入っていると、再生できない場合があります。
- 再生できないファイルを選んだときは、表示部に"CONTENT PROTECTED"または"CANNOT PLAY"と表示されます。

MP3

- 静止画の入ったMP3ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
- ID3タグには対応していません。

JPEG

- DCF(Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGを表示します。(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータになり、画像が表示されないことがあります)
- 画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付画像は再生できません。

再生される順番 WMA/MP3 JPEG

ただし、順番通りに再生できないことがあります。

CDテキスト

市販のソフトなどで作成したCDテキストは、作成したトラック順に再生されます。

お知らせ

- **WMA/MP3** **JPEG**:グループ数400、コンテンツ数4000まで再生できます。(WMA/MP3のランダムプレイ時は、999コンテンツまでの再生に限定されます。)
  ただし、階層の深いフォルダが複数あるときは、フォルダ/ファイルを認識できないことがあります。
- WMA/MP3とCD-DAの両形式が同一ディスクに記録されている場合は、最初のセッションに記録されている形式のみ再生します。

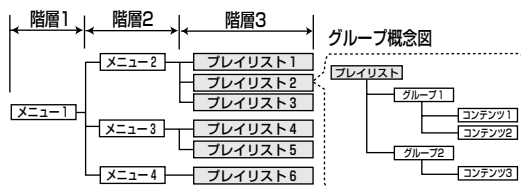
HighMATで記録されたディスクについて

- HighMAT™規格は、音声/画像/動画ファイルをCD-R/RWに記録するときの管理フォーマットです。本機では、WMA/MP3の音楽ファイルとJPEGの静止画ファイルが記録されたディスクを再生できます。
- HighMAT規格に対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報をつけたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。
- HighMAT規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XPがインストールされたパソコンが必要です。(HighMAT: High performance Media Access Technology)
- 再生できないファイルを選んだときは、表示部に"CONTENT PROTECTED"または"CANNOT PLAY"と表示されます。

HighMATディスクの構成例

□:メニュー(プレイリストを探すための条件項目)

□:プレイリスト

グループ:プレイリスト内の好みのひとかたまり

**作成方法については下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/**

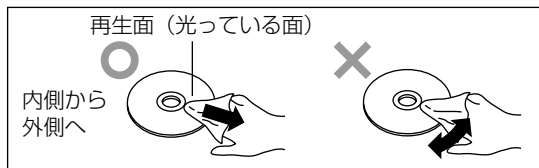
テープについて

ディスクの扱い

■ 汚れたときは

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD、CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス VUA7091
（サービスルート扱い）

DVD-RAM、DVD-R

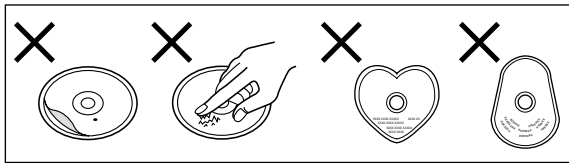
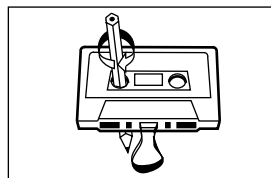
- 必ず専用の DVD-RAM/PD ディスククリーナー LF-K200DCJ1（別売り）、RFKZ0093（サービスルート扱い）でふいてください。
  使いかたは、ディスククリーナーの説明書をご覧ください。
- 布や CD 用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■ 露がついたら

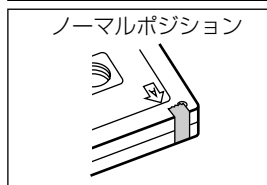
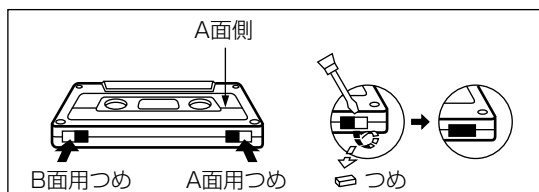
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。DVD-RAM、DVD-R は、専用のクリーナー（上記）でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない。
  （ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 以下のディスクを使わない。
  - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - ハート型など、特殊な形のディスク

■ 100 分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります）

■ エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■ テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■ 録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには

① [◀▶TAPE ● REC/▮▮] を押してセレクターを“TAPE”にし、[■ STOP] を押す。
② テープを入れる。
③ リバースモードを選ぶ。（☞ 31 ページ）
④ [SHIFT] と [◀▶TAPE ● REC/▮▮] を同時に押す。

■ 取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

主な仕様

本体部（SA-PM900DVD）

■ アンプ部
実用最大出力（両 CH 動作）： 25 W + 25 W
（全高調波ひずみ率 10 %, 6 Ω）
LOW ： 13 W + 13 W
HIGH ： 12 W + 12 W

■ FM チューナー部
受信周波数帯域 ： 76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子 ： 75 Ω(不平衡型)

■ AM チューナー部
受信周波数帯域 ： 522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

■ DVD/CD 部
ディスク ： 8 cm /12 cm
DVD-RAM（DVD-VR 規格対応のディスク）
DVD-Audio
DVD-Video
DVD-R（DVD-Video 規格準拠）
スーパービデオ CD（IEC62107 準拠）
ビデオ CD
音楽用 CD（CD-DA）
CD-R/RW（CD-DA、ビデオ CD、スーパービデオ CD、
MP3、WMA、JPEG、HighMAT レベル 2）
MP3/WMA 再生可能な最大コンテンツ数： 4000 コンテンツ
再生可能な最大グループ数： 400 グループ
MP3 ビットレート： 32 kbps ～ 320 kbps
WMA ビットレート： 48 kbps ～ 320 kbps
JPEG Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
再生可能な最大画像数： 4000 画像
再生可能な最大グループ数： 400 グループ
画像解像度： 320 × 240 ～ 6144 × 4096
（サブサンプリング： 4:2:2、4:2:0）
HighMAT レベル 2（音声、静止画）
映像
信号形式 ： NTSC
映像出力 ：出力レベル 1 Vp-p（75 Ω）
D1／D2 映像出力 ： Y 出力レベル 1 Vp-p（75 Ω）
PB/CB 出力レベル 0.7 Vp-p （75 Ω）
PR/CR 出力レベル 0.7 Vp-p （75 Ω）
ピックアップ 光源 ： 半導体レーザー
波長 ： CD/VCD 785 nm、DVD 662 nm

■ MD 部
形式 ： ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 ： 磁界変調オーバーライト方式
読取方式 ： 半導体レーザー(波長 =780 nm) による
非接触光学式
サンプリング周波数 ： 44.1 kHz
圧縮／伸張方式 ： ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数 ： 2 チャンネルステレオ
ワウ・フラッター ： 測定限界以下
録音再生時間（80 分 MD 使用）： SP 80 分、LP2 160 分、LP4 320 分

■ カセットデッキ部
トラック方式 ： 4 トラック、2 チャンネル
ヘッド
録音／再生 ： パーマロイ
消去 ： ダブルギャップフェライト
モーター ： DC サーボモーター
録音方式 ： AC バイアス 100 kHz
消去方式 ： AC 消去
テープ速度 ： 秒速 4.8 cm

■ 総合
電源 ： AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 ： 56 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行） ： 175 × 251 × 341 mm
質量 ： 約 5.7 kg

電源スタンバイ時の消費電力 ： 約 0.2 W（DEMO OFF 時）

スピーカー部（SB-PM900）

形式 ： 3 ウェイ 3 スピーカーバスレフ型
ウーハー ： 10 cm コーンタイプ
ツイーター ： 6 cm リングシェープドドームタイプ
スーパーツイーター ： 1.2 cm ドームタイプ
インピーダンス
LOW ： 6 Ω
HIGH ： 6 Ω
許容入力(IEC)
LOW ： 40 W (Max)
HIGH ： 40 W (Max)
出力音圧レベル ： 84 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域 ： 50 Hz ～ 100 kHz (–16 dB)
60 Hz ～ 90 kHz (–10 dB)
寸法（幅 × 高さ × 奥行） ： 145 × 250 × 274 mm
質量 ： 約 2.6 kg

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ DVD/CD プレーヤー部
- 使用環境により異なりますが、レンズをクリーニングする必要はありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーを使わないでください。

■ MD レコーダー部
専用クリーナー（別売り）でときどき清掃されることをおすすめします。

推奨品：
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■カセットデッキ部
定期的に市販のクリーニングテープを使って清掃されることをおすすめします。

用語解説

ア アングル
DVDソフトには、複数の撮影角度（アングル）で撮影されているものがあり、同じ場面を異なるアングルで見ることができます。
くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。

サ サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。
ダイナミックレンジを圧縮すると、音量差が小さくなるため、小音量でもセリフなどが聞きとりやすくなります。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を、2チャンネルに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオを本機のスピーカーで再生するときは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

デコーダー
DVDソフトなどに記録されているデジタル信号を、映像や音声の信号に戻す装置や回路のことです。この処理をデコードといいます。

ハ フィルム素材/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。
- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画撮影のフィルムは24コマ/秒）
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。
フィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム

＝ フィールド

＋ フィールド

- **フレームスチル**
  画質はよくなりますが、2枚のフィールド間でブレを生じる場合があります。
- **フィールドスチル**
  情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイリスト
好みの場面や曲を集めた、演奏リストのようなものです。DVD-RAMや、HighMATで記録されたディスクに収録されます。

プログラムナビ
DVD-RAMに録画した番組の一覧です。見たい番組をすばやく探せます。

マ マーカー
もう一度再生したい位置につける印のことです。

B Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネルの音声信号に戻されます。

D D1/D2映像出力（ディー ディー）
S映像出力よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもとより、マルチチャンネルに対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS（Digital Theater Systems）（ディーティーエス デジタル シアター システムズ）
多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。リアルな音響効果が得られます。

I I/P/B（アイピービー）
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは画面ごとに記録しています。
- I-picture
  共用データの基準として単独で記録される画面
- P-picture
  過去のI-pictureまたはP-pictureを元につくられる画面
- B-picture
  I/P両方を元につくられ、両者の間をうめる画面

画質調整をするときは、一時停止した後、コマ送りで画質のもっともよいI-pictureを選ばれることをおすすめします。

M MP3（MPEG Audio Layer 3）（エムピースリー エムペグ オーディオ レイヤー）
元の音声をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンでCD-R/-RWに記録したMP3を再生できます。

P PBC（Playback control）（ピービーシー プレイバック コントロール）
ビデオCDを再生する方式の1つで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を選ぶことができます。本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。

Q＆A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビにS端子、D端子、コンポーネント端子があるが、どれに接続したらいいのか	本機は、S端子には接続できません。 S端子より忠実に色を再現するD端子、コンポーネント端子に接続してください。D端子とコンポーネント端子では映像の質に差はありません。	64
	プログレッシブ映像を楽しむにはどんなテレビが必要か	当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	--
	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ（サービスルート扱い　品番：RFKZ0088KIT）が必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	64
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX1」端子に接続します。	64
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	--
DVD	5.1chサラウンドを楽しみたい	後面の光出力端子にデコーダー内蔵のAVアンプを接続してください。	64
	海外で買ったDVDビデオは再生できるか	リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをお確かめください。	13
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格外のディスクは再生できません。	13
	ビデオテープに録画できるか	ほとんどのDVDにはコピー禁止処理が施されているため録画できません。	--
MD	MDネットワークに対応している機器は？	MD NETWORK　カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	--
	MDに長時間録音する方法は？	[SHIFT]＋[SP/LP]で“LP2”または“LP4”を表示させ、あとは通常の録音操作をしてください。	37
	MDの残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで[FL DISPLAY]を数回押してください。	37
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし、録音中にGUIメニューを操作すると、音に影響する場合があります。	--
	LP2、LP4で録音されたMDはどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP**に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	--
	他のMDプレーヤーで再生するとディスクタイトルが正しく表示されない	グループ編集をしたMDを、グループ未対応のプレーヤーで再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。	--
他	ハイポジションテープやメタルテープに録音するとどうなる?	本機では正しく録音／消去できません。前回の録音が完全に消えないことがあります。 ただし、使用しても機器への支障はありません。	--
	長期間使用しないのだが、どうすれば?	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、再使用時には時計の設定が必要です。	--

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CANNOT PLAY	再生できないファイルです。	ディスクを交換するか別のファイルを選んでください。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1 グループ設定中は、MD の編集やタイトル入力ができません。	各設定を解除した後、編集操作を行ってください。
Checking TOC	5CD イッキ録りを行う前にすべての CD をチェックしています。	チェック完了までしばらくお待ちください。
CONTENT PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	(WMA、HighMAT) そのトラックをスキップして再生します。
COPY PROTECTED	コピー禁止の DVD オーディオや CD です。	録音できません。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
DISC 1※ コウソクロクオン キンシジカン	前回高速録音してから 74 分経過していません。	74 分経過してから高速録音するか、定速で録音してください。
DISC 1※ ロクオンキンシディスク（または）CAN'T REC	録音できないディスク、あるいは、録音できない部分です。	録音できません。
DISC 1※ トラックスウガ 1※キョク フソク	高速録音した CD のトラック数と録音した MD のトラック数が一致していません。	確認したうえで必要ならば録音し直してください。
DISC 1※ トラックスウガ 1※キョク オオイ		
DVD NO PLAY	再生できないディスク、"視聴制限" を設定したディスクが入っています。	ディスクを交換する。 視聴制限を解除する。
DVD U11/U15 （テレビ画面には「ディスクを確認してください。」）	ディスクが汚れていたり、ファイナライズされていない DVD-R のため再生できません。	汚れを取り除いてください。 ファイナライズしてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、操作し直してください。
F□□ H□□（□□は数字を示します）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	1 度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOC エリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやムーブができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1 つのグループを解除してください。
MD F□□ （□□は数字を示します）	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
NO REMAIN	MD に空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
SCMS CAN'T COPY	CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。 または、アナログ録音に切り換えてください。
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するにはテープのつめの部分にセロハンテープを貼ってください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了して "UTOC Writing" の点滅後に、つづきを入力してください。
TOC ERROR （または）DISC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UTOC FULL	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。（最大曲数は 254 曲）	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにつないでください。

※数字は表示される時の状態により異なります。

故障かな!?

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
システム全体に共通	電源「切」時に表示部が変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	2
	電源が入っているのに音が出ない。再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの先端部分を抜いてから接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8、9
		スピーカーコードがはずれたり、⊕、⊖がショートしていませんか。		
	音の位置が定まらない。左右の音が逆になる。	スピーカーコードの⊕ ⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	8、9、64
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。電源コードを逆に差しかえてみる。	--
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	8
	放送がうまく受信できない。雑音、ひずみが多い。“ ST ”が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	33
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。屋外アンテナを使うのも 1 つの方法です。	33
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	--
		携帯電話の充電を近くでしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	--
MD	MD を入れても、自動的に引き込まれない。MD を入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中の MD に、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	--
	再生できない。	寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。	--
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MD の誤消去防止つまみを閉じる。	65
	タイトルが入力できない。			
	MD のタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MD に記録できる文字数を超えていませんか。	文字数には制限があります。	44
	MD を入れても“ MD TOC Read ”が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で [EJECT ⏏] を押しても、MD が出てこない。	MD の TOC 情報読み込み中に異常が発生しました。	①[POWER ⏻/I] を押す。しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ②電源を入れ、すぐ [EJECT ⏏] を押す。MD が出てきます。（出てこないときは、手順 ① ② をくりかえす） ③MD を取り替える。	--
	高速録音ができない。	録音を終了した時点から 74 分間待たずに同じ CD を高速録音しようとしませんでしたか。	74 分待ってから録音する。定速録音する。	38
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	44
		すでに漢字でタイトルが記録された MD のタイトル編集を本機で行いませんでしたか。	本機では漢字の編集はできません。	--
	左右のチャンネル間に音漏れがある。	LP4 の曲をディバイドしたりコンバインしたりしませんでしたか。	分けた部分やつないだ部分で若干の音漏れを生じる場合があります。	--

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
ディスク（DVD/CD）	テレビに映像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビのビデオ入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。	--
		初期設定「TV アスペクト」を設定しましたか。	「TV アスペクト」を正しく設定する。	15、56
			PAL 方式の DVD オーディオは、上下に引き延ばされた画面になることがあります。	--
		A. ONLY を「入」にしていませんか。	A.ONLY を解除してください。	54
	ディスクを入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のディスクを使用していませんか。	規格に適合したディスクと取り替える。	12、13
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	12、13
		「視聴制限」しているディスクではありませんか。	初期設定の「視聴制限」の項目を確認してください。	56
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	--
	特定の箇所が正常に再生しない。 操作しても、うまく働かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	67
		テレビに“ ⦸ このディスクで～ ”が表示されていませんか。	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	--
	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	13
	プログレッシブ出力で DVD ビデオ再生時、映像の一部が二重にぶれて見える。	初期設定「プログレッシブ出力」を確認してください。	「不可」にして“ PROG. ”表示を消します。 映像ソフト側に起因する症状ですが、インターレース出力（525I）では問題なく再生できます。	56
	映像が乱れる。	プログレッシブ非対応のテレビに接続し、プログレッシブ出力をしていませんか。	付属のビデオコードで接続し、TV の入力を切り換えたあと、GUI メニューの「ビデオ出力モード」を“ 525I ”にしてください。	60
	表示部の“ D.MIX ”が点滅したままになる。	マルチチャンネルのダウンミックスを禁止しているディスクではありませんか。	映像ソフト側が指定したスピーカー構成でないと正常に再生できません。同じ曲を 2ch で収録しているディスクの場合は、「音声設定」を切り換えるなどしてお聞きください。	58
	「視聴制限」の暗証番号を忘れた。 初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻したい。	右記の操作で、お買い上げ時の状態に戻してください。	1. セレクターが“ DVD/CD ”のときに本体の［STOP■］を押しながらリモコンの［≧10］を押す（テレビ画面に“ オールクリア ”表示が出て、お買い上げ状態に戻ると消えます。） 2. 電源を「切」「入」する。	--
	高速録音時に音飛びや MD にノイズが記録される。 CD-R/RW から録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いているときは交換、指紋は柔らかい布でふいてください。ふいたあと定速録音すると改善される場合があります。CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	--
	5CD イッキ録りができない。	CD 以外から録音していませんか。	CD 以外のディスクからイッキ録りはできません。他の方法で録音してください。条件によってイッキ録りができないことがあります。	--
	WMA/MP3 ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行った WMA/MP3 ディスクを使用してください。	66
		1 セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1 セッションのデータ量を約 5MB（3 分程の曲で約 2 曲分）以上にしてください。	--
	ディスクトレイふたが正しく閉まらない。	――	① ［POWER ⏻/I］を押して電源を切ったあと、電源コードを抜き、再度差し込む。 ② ［POWER ⏻/I］を押す。 電源が入り“ WAIT ”と表示されます。“ WAIT ”が消えてからご使用ください。	--
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	68
	録音が少し途切れる。	――	おもて面から裏面に切り換わるとき、録音が少し途切れます。片面ずつプログラム録音するのも 1 つの方法です。	40
	テープが取り出せない。		AM 放送を MD に録音（待機）中はテープを取り出せません。停止後に取り出してください。	--
その他	アドバンスド・サラウンドの効果が出ない。	マルチ リ.マスターを「入」にしていませんか。	必要に応じてマルチ リ.マスターを「切」にしてください。	54

本機のスピーカーについて

- テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA※）ですが、設置のしかたによっては色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合は、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。

※「防磁設計（JEITA）」とは、（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社はこのDVD/MDステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき
72～73ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVD/MDステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM900DVD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談
ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは　３６５日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

窓口	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

窓口	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

さくいん

あ

か

さ

た

は

ま

ら

わ

数字・アルファベット

愛情点検　**長年ご使用の DVD/MD ステレオシステムの点検を!**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　—	品番	SC-PM900DVD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　—	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT7441-3S
H0204KT3074